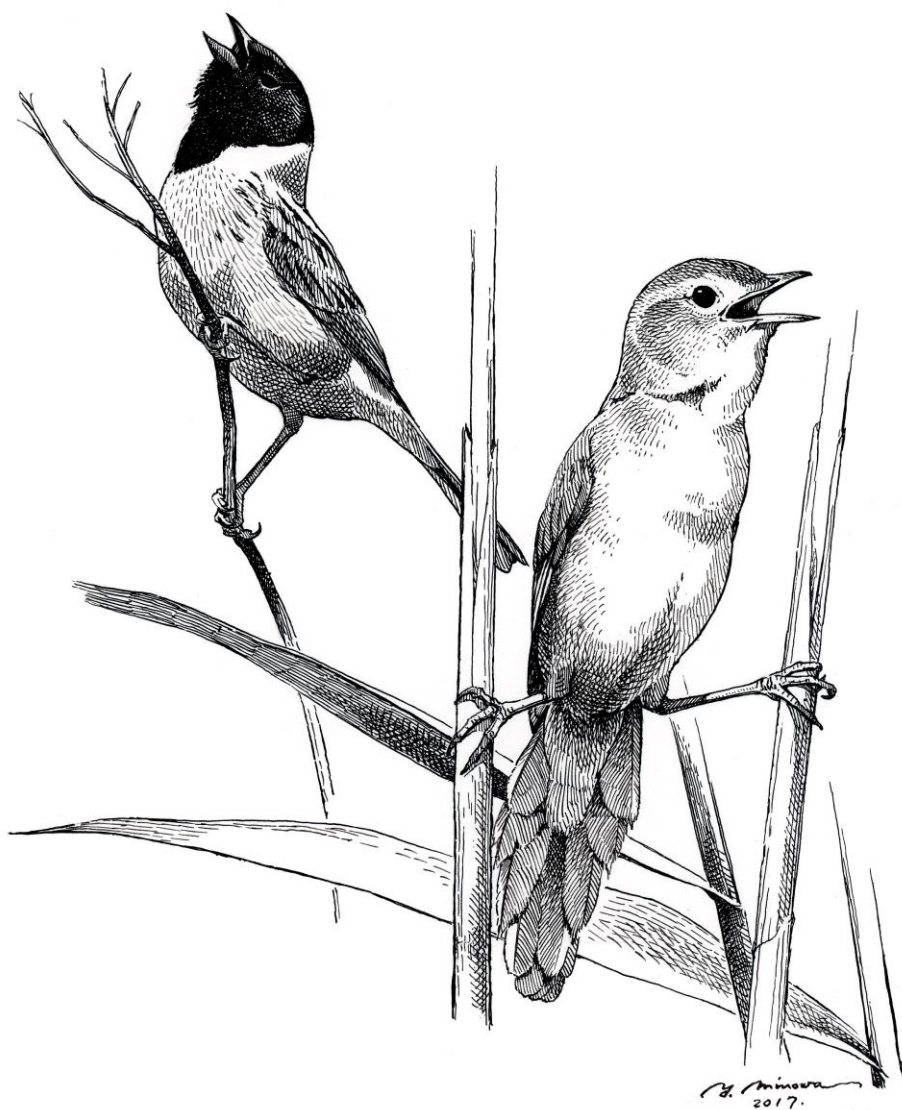


日本鳥学会 2017 年度大会 (プログラム V4, 2017/09/04)



イラスト：箕輪 義隆（囀るオオセッカとコジュリン）

目次

大会案内	3
■大会概要	3
■日程概要	3
■アクセス案内	4
■会場案内（第二エリア，9月15-17日）	6
■会場案内（春日エリア，9月18日）	9
■受付・クローク	12
■総会	12
■口頭発表	12
■ポスター発表	13
■日本鳥学会ポスター賞	13
■自由集会	13
■委員会	13
■懇親会	14
■高校生ポスター発表	14
■鳥の学校	14
■会場での撮影・録音	14
■展示販売	14
■昼食	15
■休憩室	16
■託児室・授乳室	16
■大学駐車場の利用	16
■キャンパス内での喫煙・ゴミ	16
大会プログラム	17
■公開シンポジウム	18
■黒田賞受賞講演	19
■口頭発表	20
■ポスター発表	26
■高校生（小・中学生）ポスター発表	34
■自由集会	35
■展示販売	36

※「プログラム（暫定版）V1」から「プログラム V4」の間でプログラムの中身には変更はありません。V4では会場地図や発表関係の注意事項など，講演要旨集の大会案内部分を追加しました。なお，要旨集とはページ組に若干の違いがあります。

大会案内

■大会概要

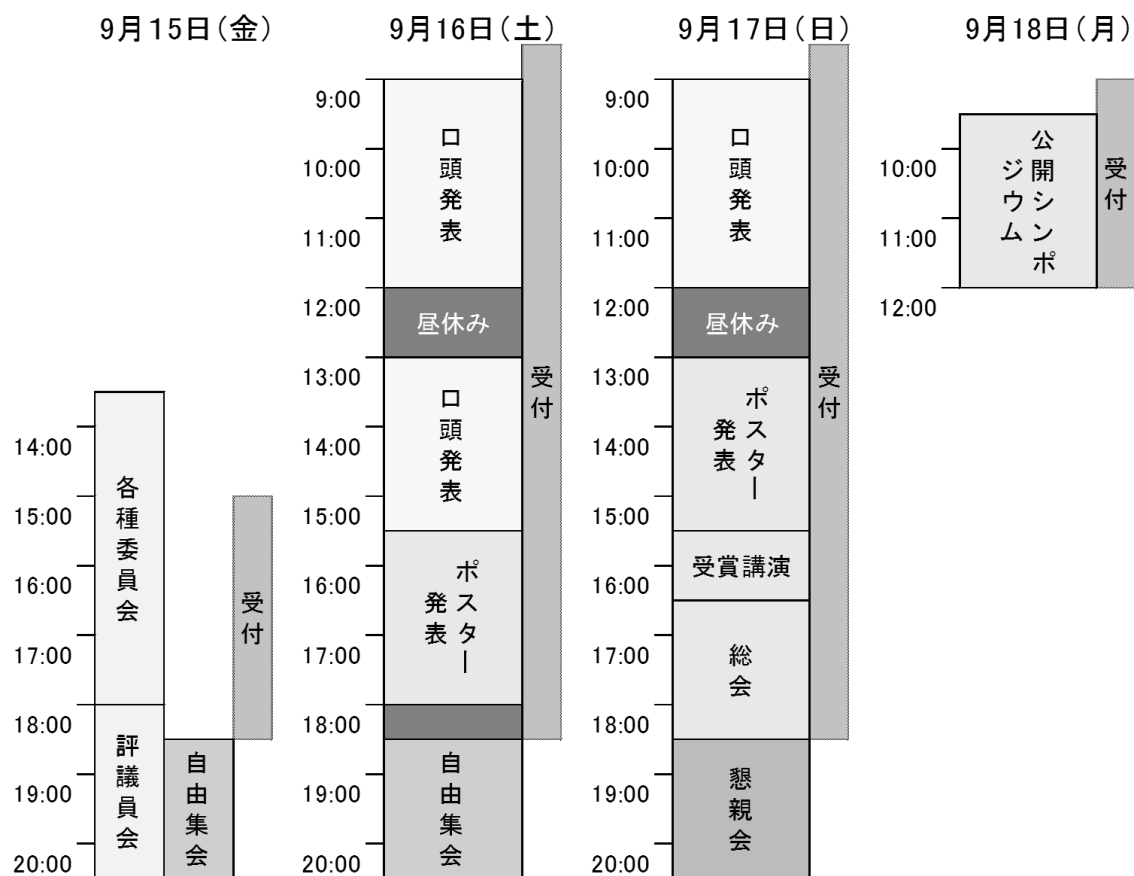
主催 日本鳥学会

共催 筑波大学

会期 2017 年 9 月 15 日（金）～18 日（月・祝）

会場 筑波大学 第二エリア（茨城県つくば市天王台 1-1-1）
春日エリア（つくば市春日 1-2）

■日程概要



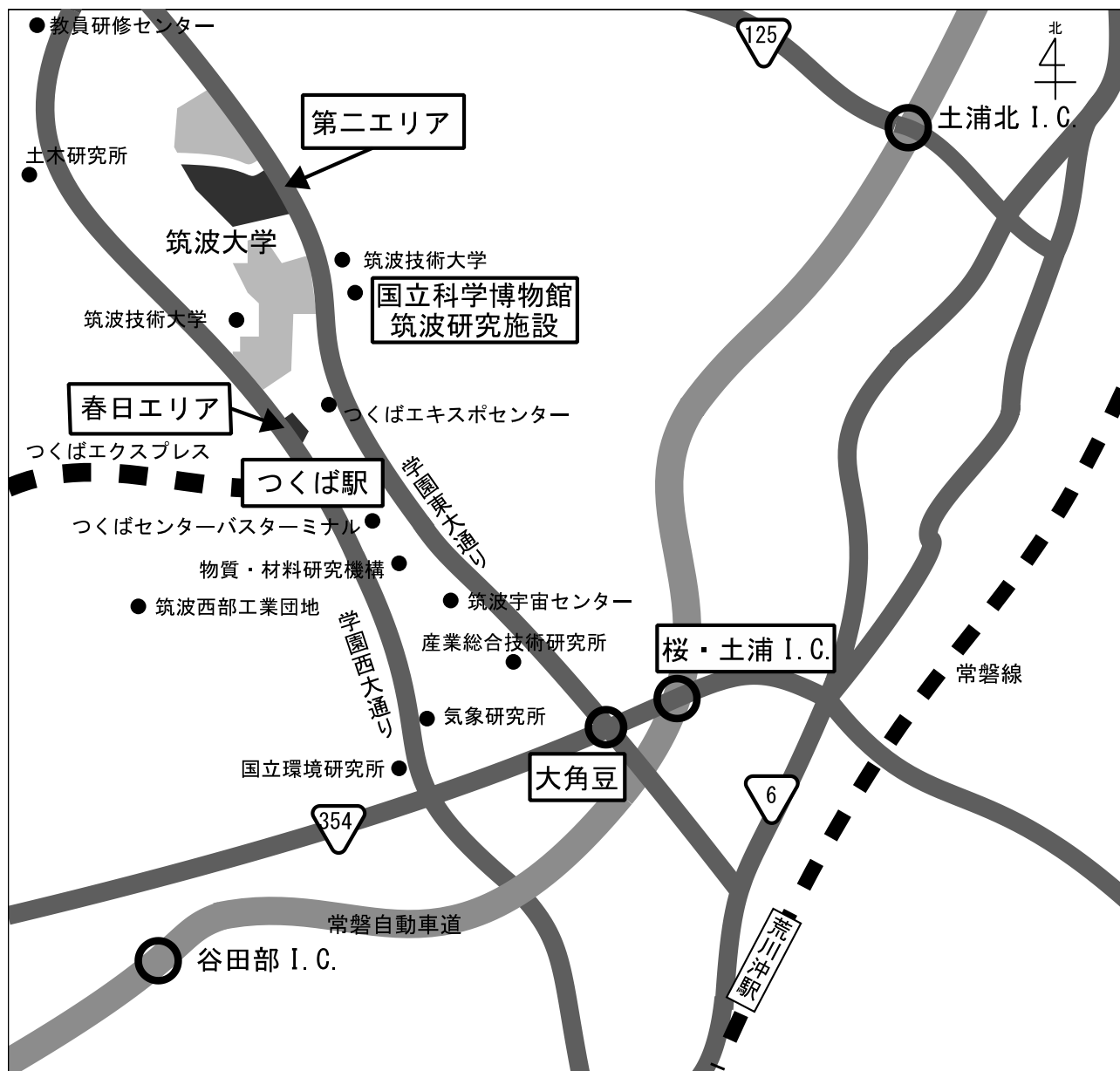
※9/15-9/17 の3日間は第二エリアのみ、9/18は春日エリアのみ。

※ポスターの掲示可能期間は15日（金）15時から17日（日）16時（夜間施設）。

※16日 15:30-17:00 はコアタイム（奇数番号ポスター）

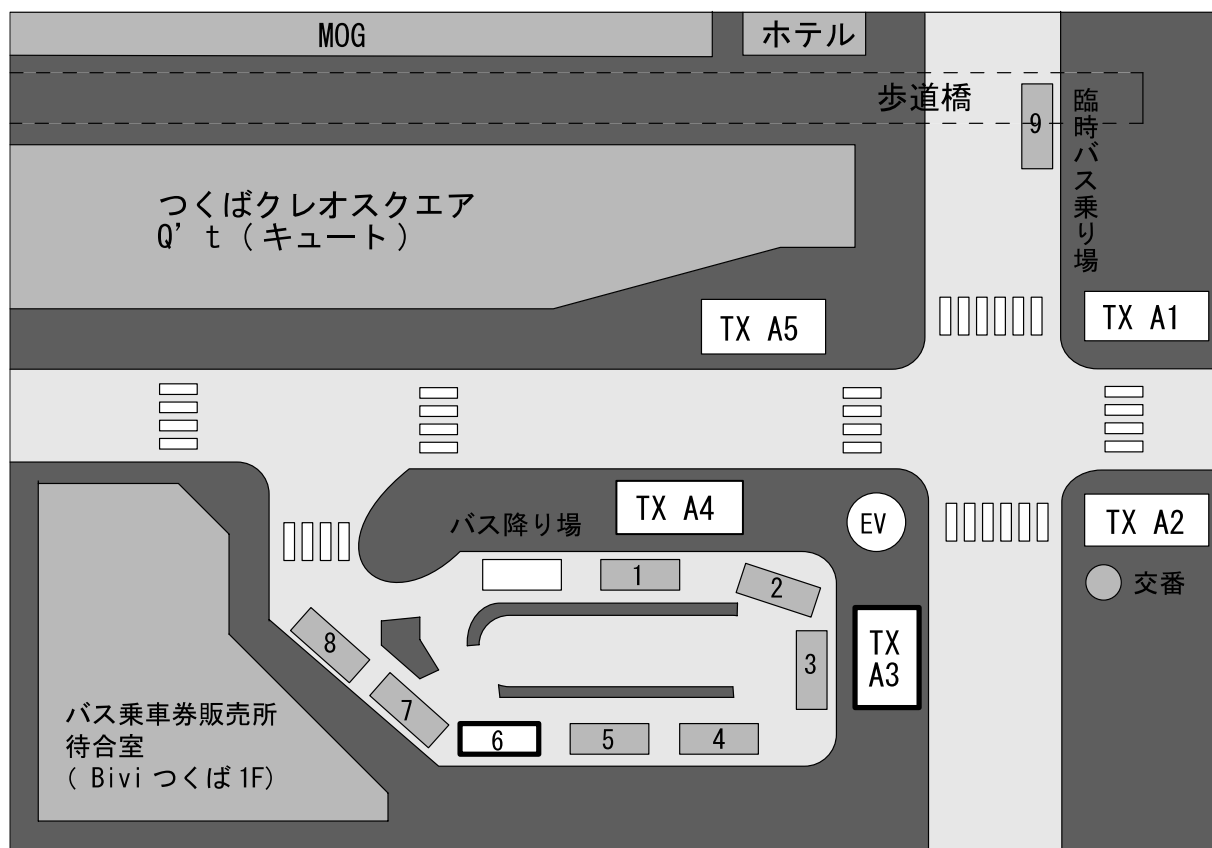
※17日 13:00-14:30 はコアタイム（偶数番号ポスター）

■アクセス案内



- **つくばエクスプレス (TX)** 秋葉原駅から快速 45 分， 終点「つくば駅」下車。後は次ページ参照。
- **高速バス** **第二エリア** 東京駅八重洲南口から「筑波大学」行きバスで終点（約 75 分， 通常は下りで 15 分程度の遅れを見込んでください）。
春日エリア 「筑波大学」行きバスで「つくばセンター」下車。徒歩 10 分。
- **自動車** 常磐高速道路 桜土浦 I.C. 下車， つくば方面へ左折→大角豆（ささぎ）交差点右折→県道 55 号線〈学園東大通り〉を北に直進。

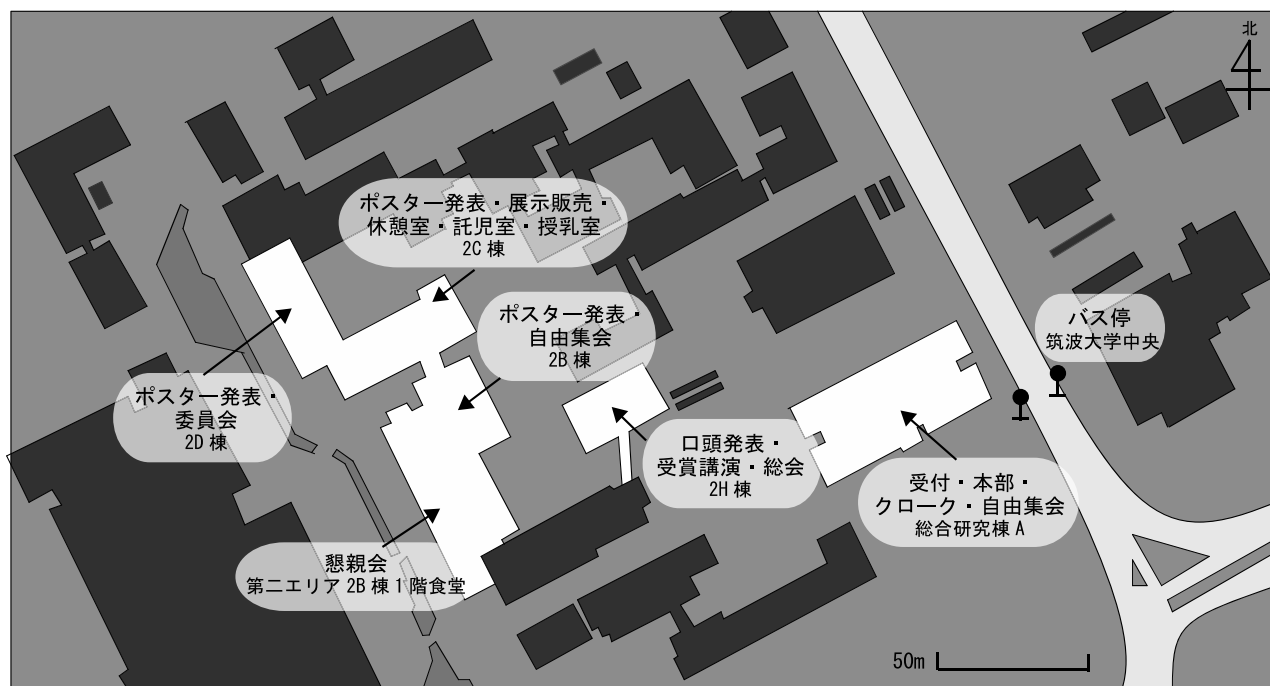
つくばエクスプレス(TX)線つくば駅バスターミナル（つくばセンター）からの乗り継ぎ
 (TX A1～TX A5 はつくば駅（地下）からの出口, A3 出口へお進みください)



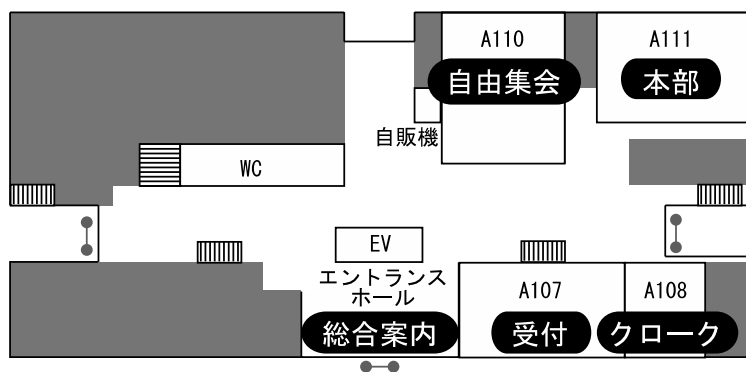
- **第二エリアへは**，つくばエクスプレスつくば駅 6 番バス乗り場から筑波大学中央行きまたは大学循環左回りバスで大学中央下車（約 20 分）。
- **春日エリアへは**，つくば駅から徒歩 10 分，またはつくばエクスプレスつくば駅 6 番バス乗り場から筑波大学中央行きまたは大学循環左回りバスで筑波大学春日エリア前下車（約 5 分）。
- **バス時刻表（関東鉄道バスつくば駅大学方面行き）**
 ウェブ上に時刻表や乗り場案内があります。「関東鉄道バス つくばセンター 筑波大学」で検索して下さい。

■会場案内（第二エリア，9月15-17日）

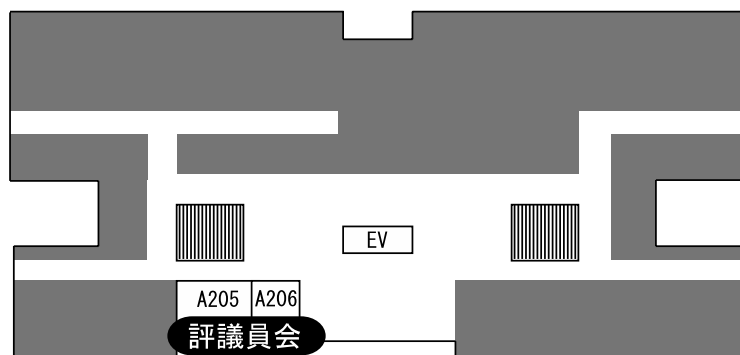
第二エリア建物配置図



総合研究棟 A 1F 出入口

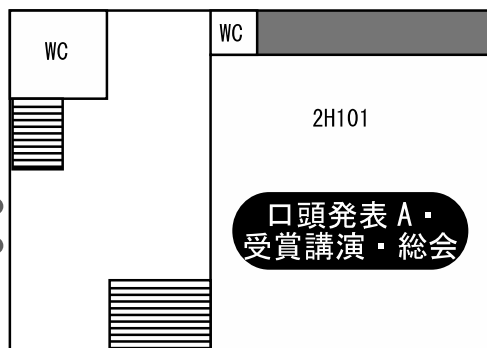


総合研究棟 A 2F

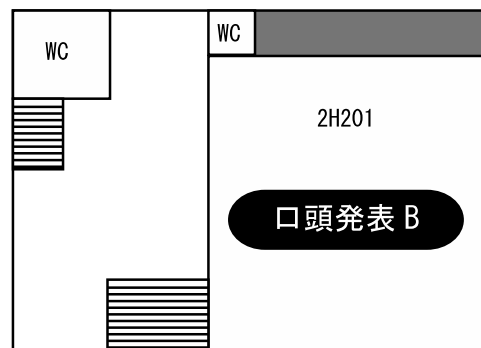


2H 棟 1F

● 出入り口

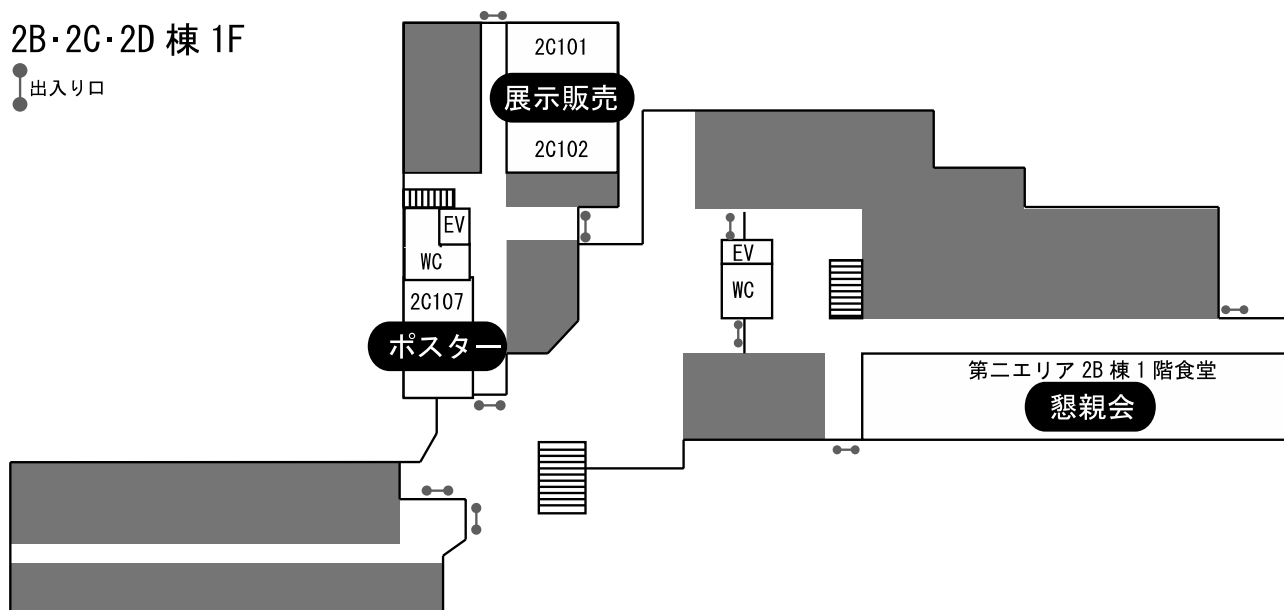


2H 棟 2F

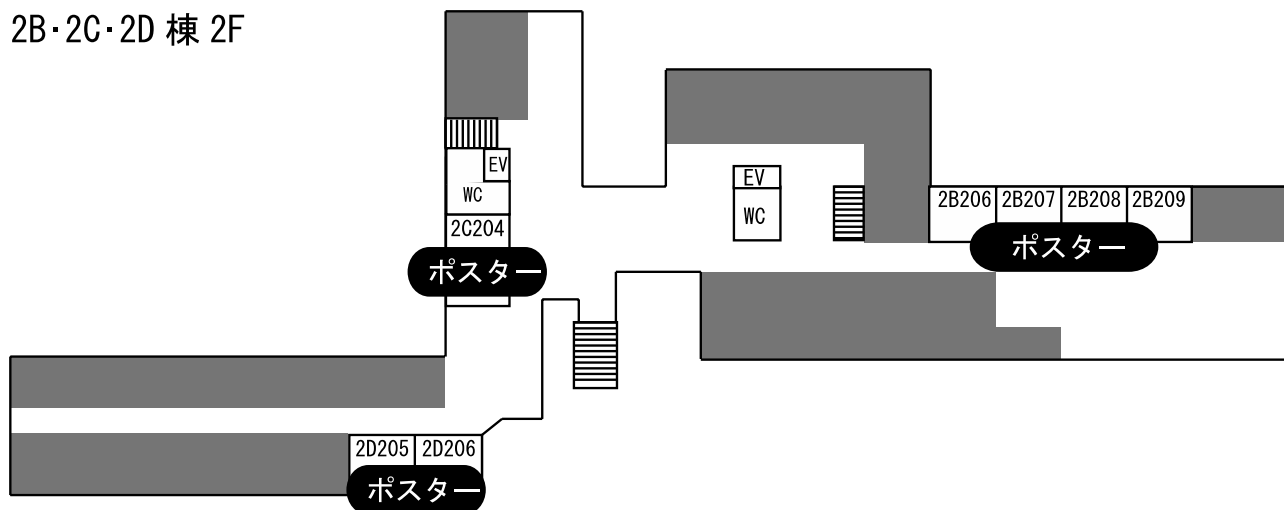


2B・2C・2D 棟 1F

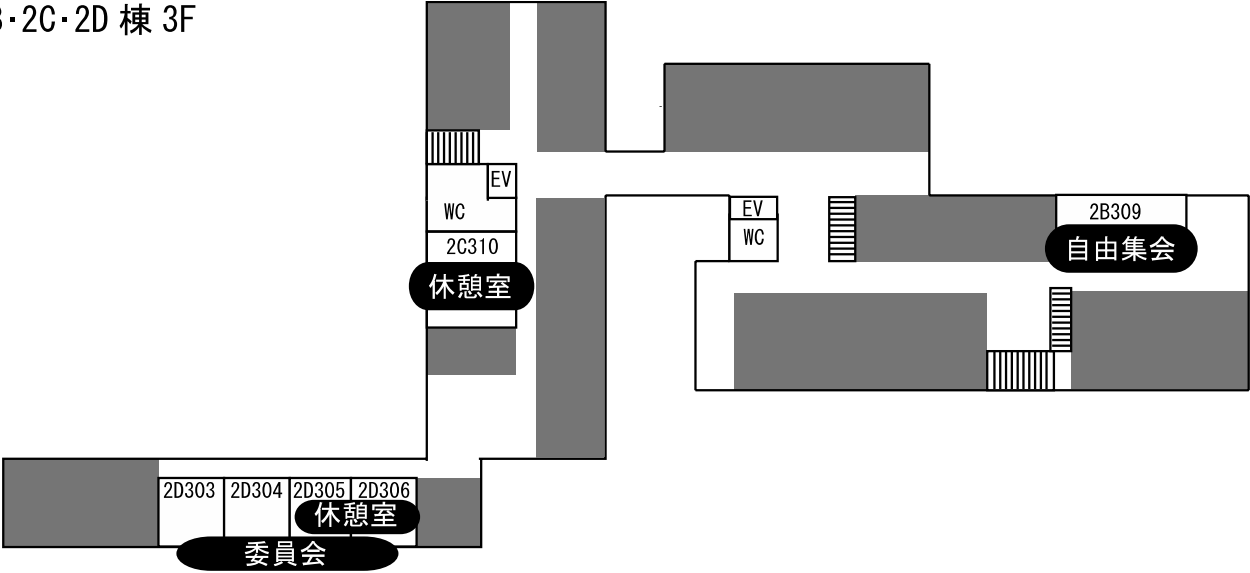
● 出入り口



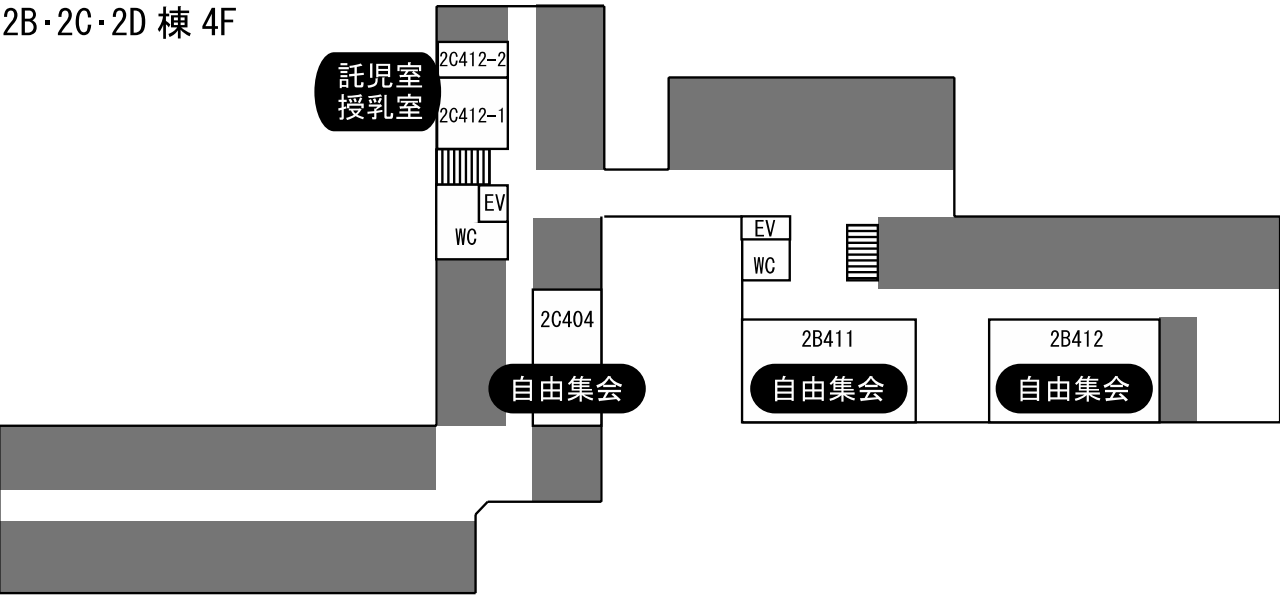
2B・2C・2D 棟 2F



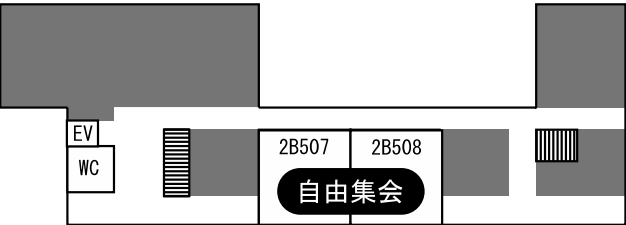
2B・2C・2D 棟 3F



2B・2C・2D 棟 4F

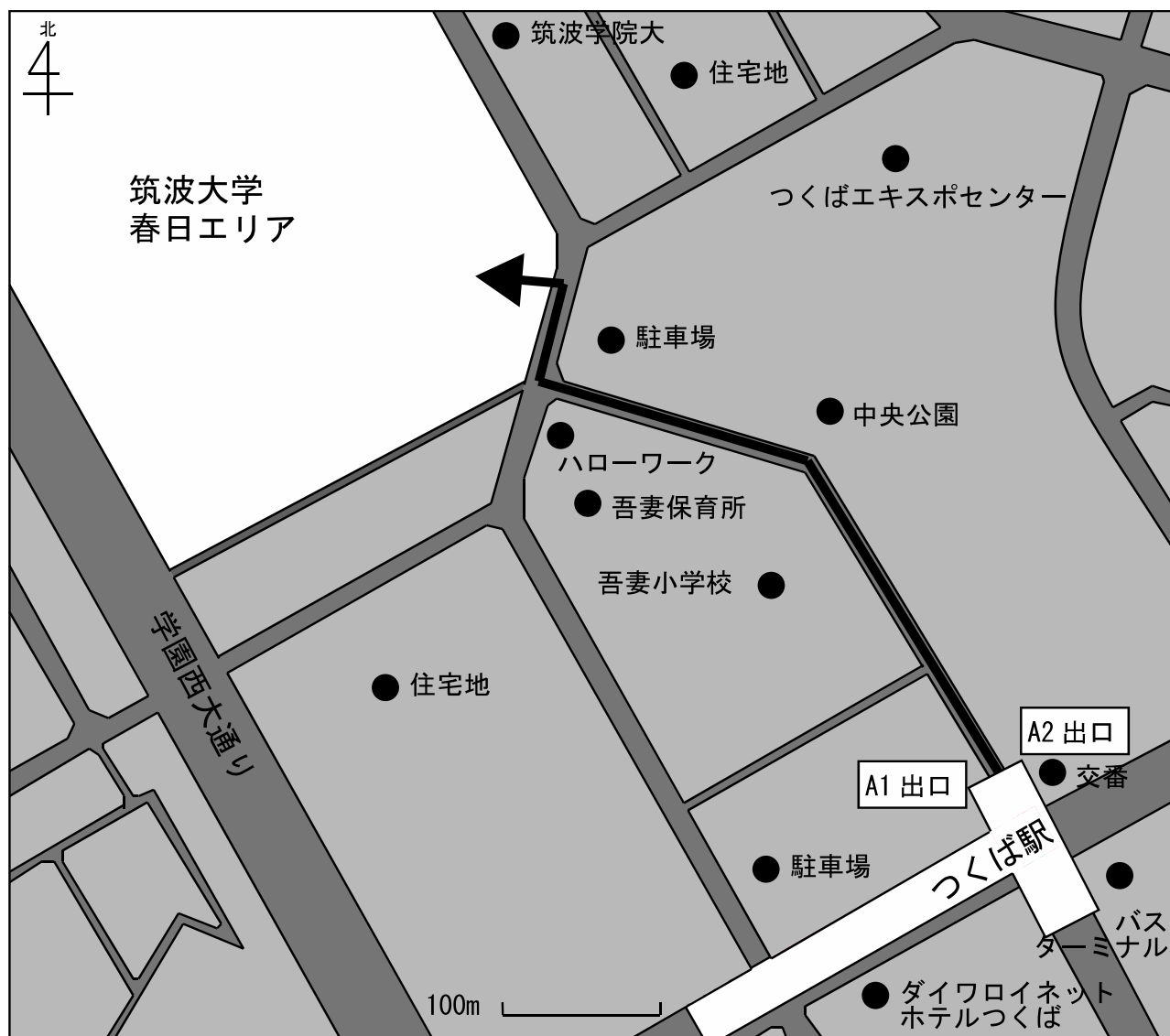


2B・2C・2D 棟 5F

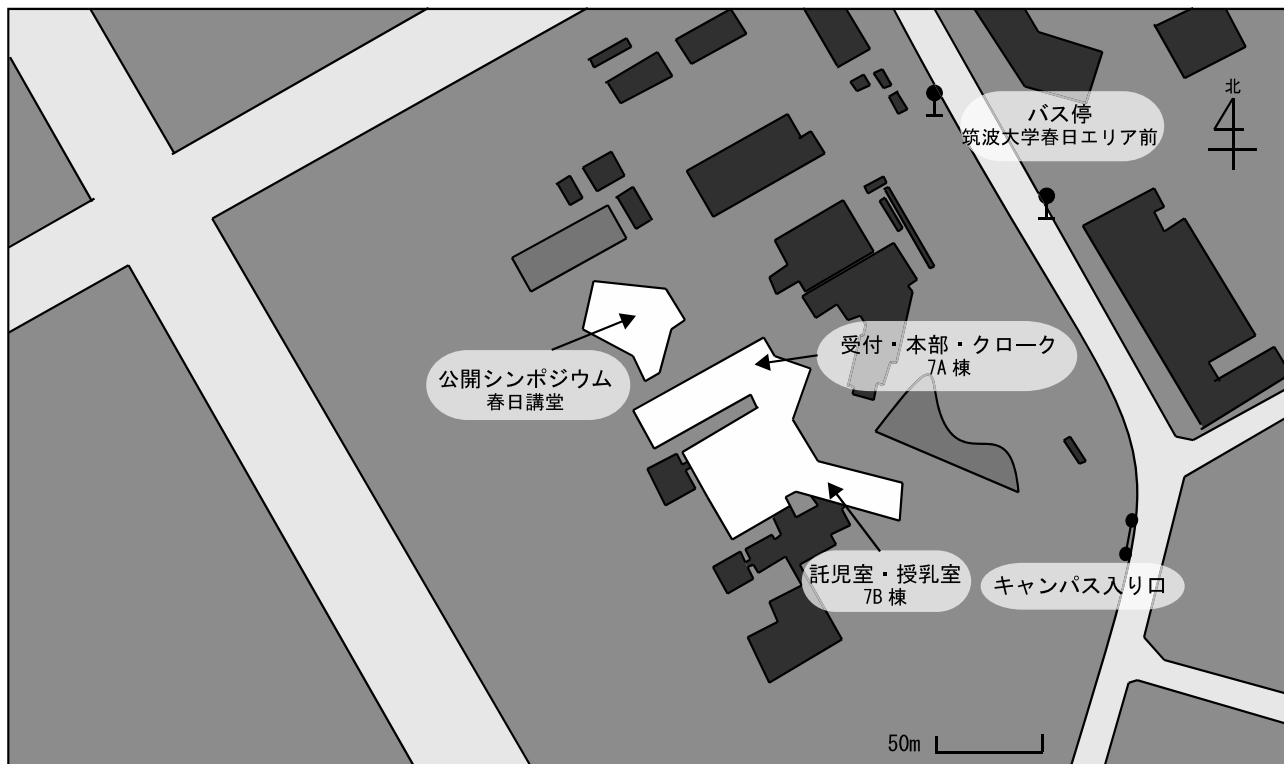


■会場案内（春日エリア，9月18日）

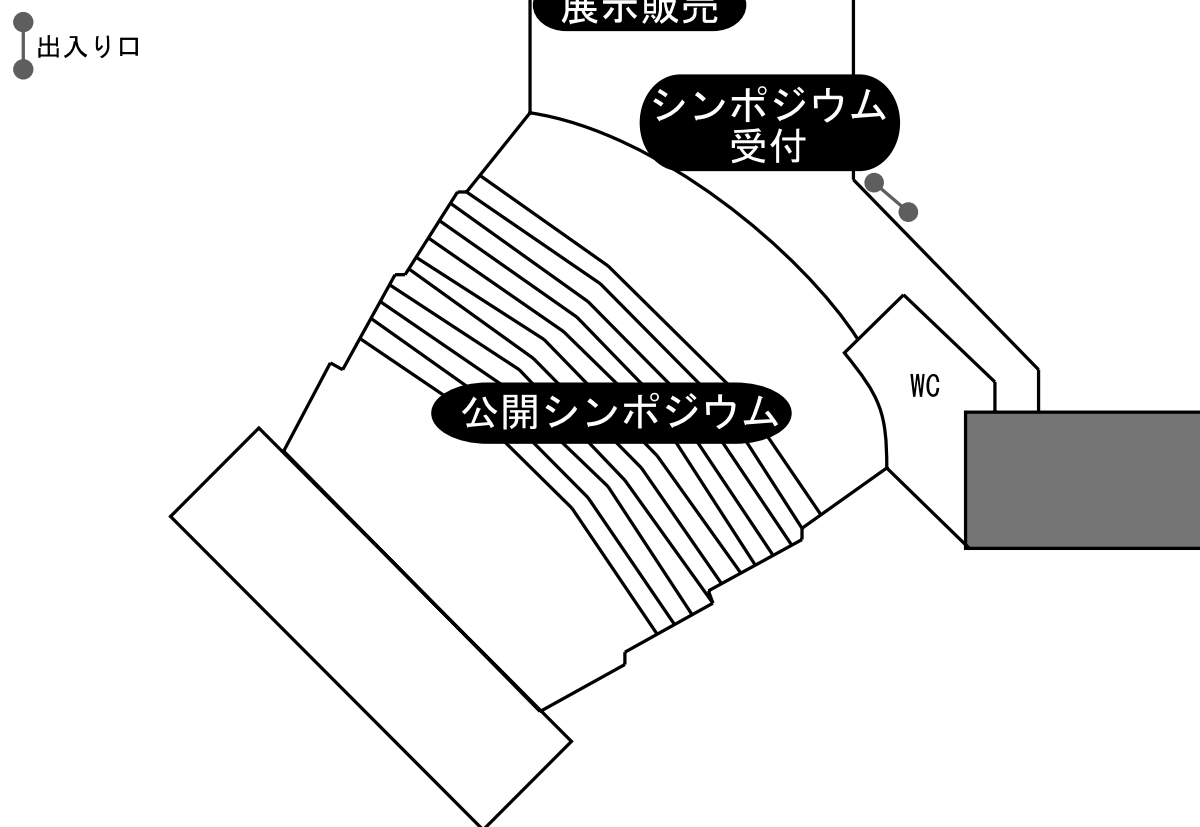
TX つくば駅から春日エリアへの道順



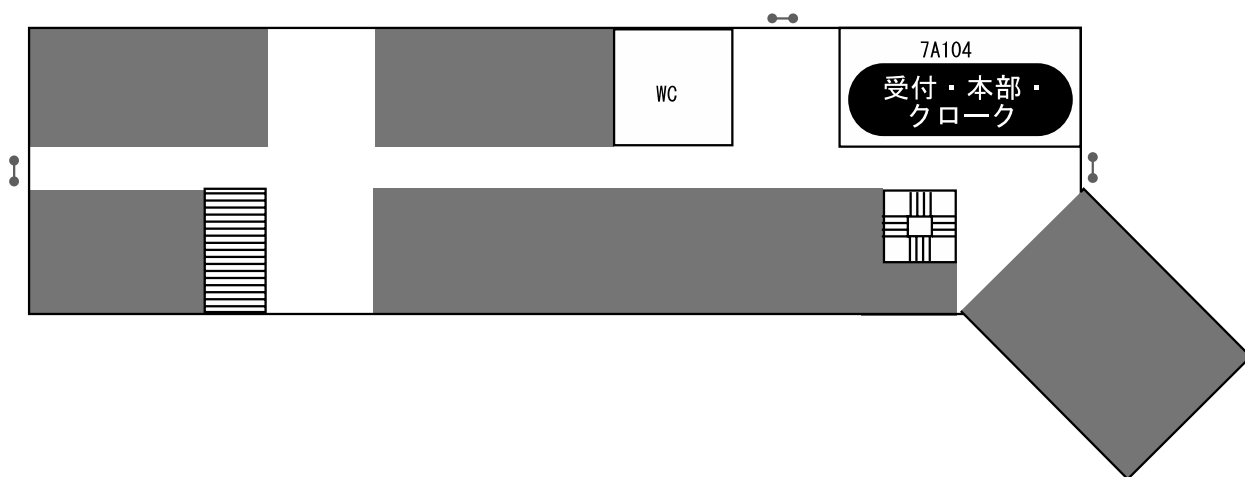
春日エリア建物配置図



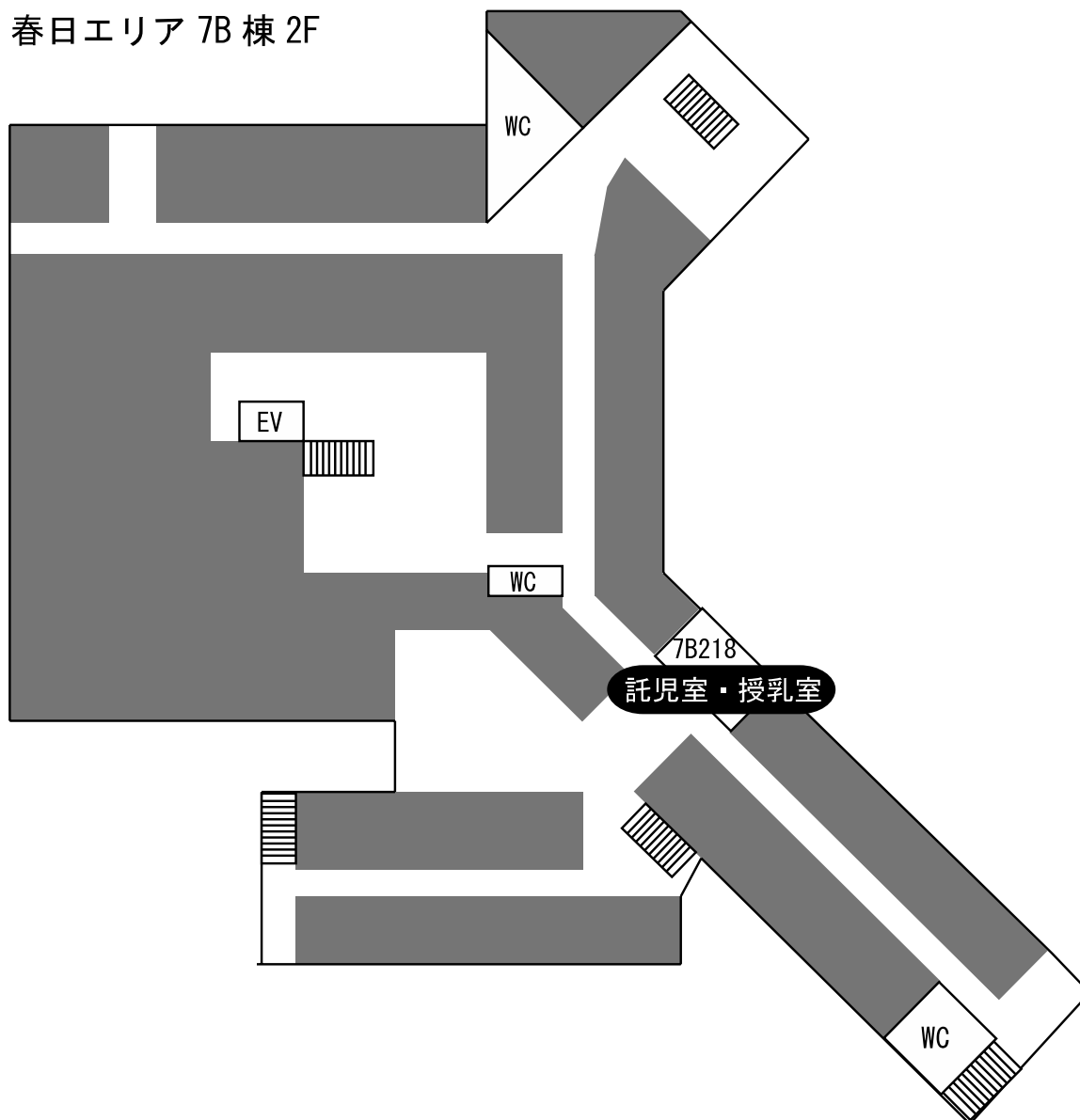
春日エリア春日講堂



春日エリア 7A 棟 1F 出入口



春日エリア 7B 棟 2F



■受付・クローク

受付は15—17日は第二エリア総合研究棟 A 1 階 107 室で、18日は春日エリア 7A 棟 1 階 104 講義室で行います（18日の公開シンポジウムの受付は春日講堂）。受付時間は以下の通りです。

15 日（金）： 15:00—18:30 第二エリア総合研究棟 A
16 日（土）： 8:30—18:30 第二エリア総合研究棟 A
17 日（日）： 8:30—18:30 第二エリア総合研究棟 A
18 日（月・祝）： 9:00—12:00 春日エリア 7A 棟

16—17日は第二エリア総合研究棟 A1 階 108 室で、18日は春日エリア 7A 棟 1 階 104 講義室でお荷物をお預かりします。お預かりできる時間は以下の通りです。

16 日（土）： 8:30—18:30 第二エリア総合研究棟 A
17 日（日）： 8:30—18:30 第二エリア総合研究棟 A
18 日（月・祝）： 9:00—12:30 春日エリア 7A 棟

■総会

17 日（日）の 16:30 から 18:30 まで、第二エリア 2H 棟 1 階 101 大講義室で行います。学会員の方は極力ご参加ください。やむを得ず不参加の場合は、総合受付に用意された総会委任状を記入し、提出してください。

■口頭発表

発表時間 12 分以内、質疑を含めて 15 分以内を厳守して下さい。使用できる機器は大会事務局が用意したコンピューターです。OS は Windows 7、使用できるアプリケーションは MS-PowerPoint 2013（他のバージョンでファイルを作成した場合、プレゼンテーション機能の一部を利用できない恐れがあります）、または Adobe Acrobat Reader DC、使用可能なファイル形式は ppt, pptx, pdf です。なお、発表スライドの横縦比は 4:3 にしてください。動画および個人のコンピューターは、申し込み時に大会事務局に申し出た方のみ使用できます。

口頭発表用ファイルの提出について

口頭発表用のファイルは、発表の前日 18 時までに、受付に提出して下さい。ファイルは USB メモリーもしくは CD-R での提出とし、ファイルサイズ 10MB 以内とします。なお、メール添付による提出も受け付けますので、15 日（金）18 時までに専用アドレス（osj2017.oral@gmail.com）までお送り下さい。ファイル名は「会場名（A または B）発表番号」として下さい（例：A01）。

お預かりしたファイルは、発表終了後に大会事務局が責任を持って消去します。

座長

本年度大会でも、口頭発表をされた方には直後の発表の座長（司会進行）を担当していただきます。ご自分の発表後が昼休みの場合は、昼休み後の最初の発表を担当してください。皆様のご協力をお願いいたします。

■ポスター発表

ポスター会場は 2B・2C・2D 棟 1～2 階です。ポスターは A0 サイズ（横 841mm×縦 1189mm）以内になるようご用意下さい。掲示用具は大会事務局で用意します。

ポスターの掲示と撤去は各自の責任でお願いします。ポスターは 15 日（金）15 時から 17 日（日）16 時まで掲示しておくことができます。18：00 以降は施錠するので会場には出入りできません。17 日 16 時以降に掲示されているポスターは大会事務局が撤去します。

ポスターの説明は 16 日（土）午後、17 日（日）午後に設定されたコアタイムで実施して頂きます。コアタイムには、演者がポスターの前で説明を行って下さい。

発表番号が奇数： 16 日（土） 15:30－17:00

発表番号が偶数： 17 日（日） 13:00－14:30

高校生発表（すべて）： 17 日（日） 13:00－15:30（表彰式はポスター会場で行います。）

■日本鳥学会ポスター賞

昨年に引き続き、若手の独創的な研究を奨励する目的で「日本鳥学会ポスター賞」を選出します。ポスター賞応募の受付は終了しました。**ポスター賞応募者は、必ず 9 月 16 日（土）午前 9 時までに掲示して下さい。**ポスター賞応募者の発表は 17 日（日）になります。表彰式は、17 日 16:30 から第二エリア 2H 棟 1 階 101 大講義室で行われる総会中で行います。なお、株式会社モンベルより受賞者にプレゼントが贈呈されます。

■自由集会

15 日（金）、16 日（土）の夜に自由集会を開催いたします。自由集会会場には液晶プロジェクタおよびモニターケーブル 1 本（ミニ D-sub15pin）が備え付けられています。パソコンは各自由集会の主催者をご用意ください。自由集会における会場の運営・後片付けは、主催者の責任で行っていただくようお願いします。

■委員会

下記日程で、各種委員会および評議員会を開催いたします。委員の方はお集まりください。

9 月 15 日（金）

13：30－15：20	和文誌編集委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 303 講義室
13：30－15：20	企画委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 304 講義室
13：30－15：20	基金運営委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 305 講義室
13：30－15：20	鳥類分類委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 306 講義室
15：30－17：20	英文誌編集委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 303 講義室
15：30－17：20	鳥類保護委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 304 講義室
15：30－17：20	広報委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 305 講義室
15：30－17：20	日本産鳥類記録委員会	第二エリア	2D 棟 3 階 306 講義室
18：00－20：30	評議員会	第二エリア	総合研究棟 A 2 階 205、206 連結教室

■懇親会

懇親会は17日（日）18：30－20：30、第二エリア 2B 棟 1 階食堂内で行います。懇親会会場入り口にて、大会スタッフが名札の懇親会参加表記を確認いたしますので、必ず名札をご持参ください。名札をお持ちでない場合はご入場いただけませんのでご注意ください。

なお、今大会でも、1973 年から愛鳥キャンペーン・環境活動を行っておられるサントリーホールディングス株式会社より飲み物の提供を頂いております。

なお、懇親会終了後のつくばセンター行きバスを増便しました（17日のみです）。

懇親会終了の20:30以降、「筑波大学中央」のバス停から発車するバスは以下のとおりです。つくばセンターまでの料金は270円です。定期便、臨時増便とも、降車時に現金またはICカードでお支払い下さい。

20:32(循環左回り、定期)	20:40(臨時、つくば駅直行)	20:56(循環右回り、定期)
21:00(循環左回り、定期)	21:10頃(臨時、つくば駅直行)	

■高校生ポスター発表

鳥学を担う若手の発掘・育成のため、高校生（小中学生）のポスター発表を17日（日）に開催し、優秀な発表を表彰します。会場は2B 棟 2 階 2B208、209 講義室です。なお、株式会社モンベルより参加者にプレゼントを、野鳥生活より表彰の一部に副賞をいただいております。

■鳥の学校

大会と連結開催される「鳥の学校」は、9月18日（月・祝）13:00 から19日（火）17:00 に、国立科学博物館筑波研究施設（茨城県つくば市天久保 4-1-1）で、国立科学博物館との共催で開かれます。なお、「鳥の学校」の参加申し込みは既に締め切られています。

■会場での撮影・録音

参加者の肖像権、発表における著作権への配慮のため、参加者が他者や他者の発表の録音、録画、撮影等を行うことは禁止します。なお、大会事務局において、大会の記録のため写真撮影等を行うことがありますのでご了承下さい。

- ・ 発表者がご自身の講演を撮影、録音することは構いません。
- ・ 発表者本人の許可と立会いのもとで撮影、録音することは禁止しません。
- ・ 上記以外の場合は、発表者本人の許可を得た上で、事前に大会本部に申し出て下さい。腕章をお貸ししますので、撮影、録音時には着用して下さい。

いずれの場合も、撮影に際しては、他の講演や他の方が写り込まないように注意して下さい。また、大会スタッフが許可について確認させていただくことがありますが、ご理解下さい。

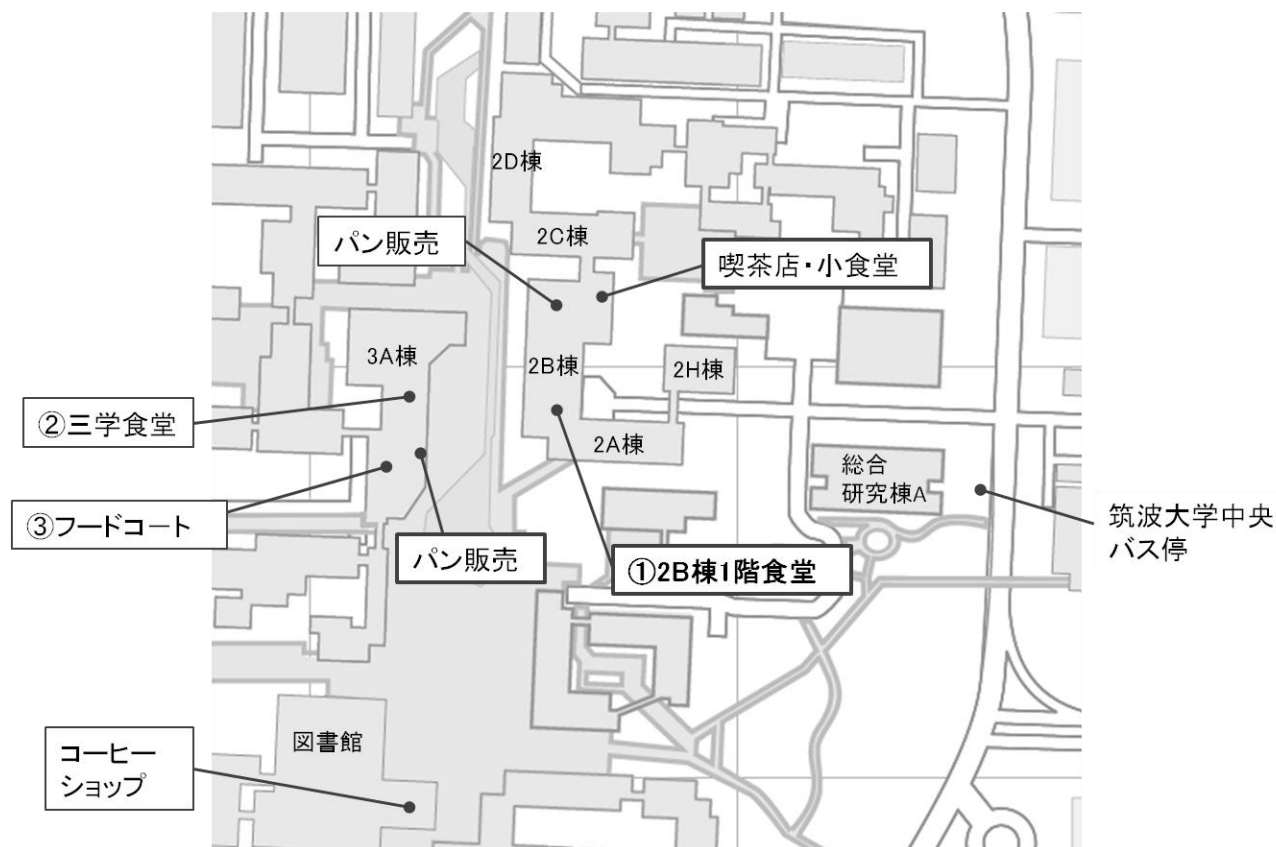
■展示販売

2C 棟 1 階 2C101、2C102 講義室(16-17 日)、春日講堂ラウンジ(18 日)にて企業・団体による展示販売が行われます。どうぞご利用・ご覧ください。展示企業・団体の詳細につきましては、36 ページをご覧ください。

■昼食

筑波大学第二エリア周辺の食堂の位置と営業時間は以下ようになります。最寄りの外部の食堂までは徒歩で10分以上かかります。

筑波大学第二エリア周辺の食堂マップ



主要な食堂の営業時間一覧

	15 日	16 日	17 日
①2B 棟 1 階食堂	9:30～18:40	10:30～13:30	お弁当販売のみ
②三学食堂	11:00～14:00	11:00～14:00	11:00～14:00
③フードコート	11:00～15:00	一部店舗のみ 営業	一部店舗のみ 営業

■休憩室

第二エリアでは 2C 棟 3 階 2C310 講義室および 2D 棟 3 階 2D305, 306 講義室に休憩室を設置いたします。ご利用時間は以下の通りです。

15 日（金）	: 15:00－18:00	（2C310 講義室のみ）
16 日（土）	: 8:30－18:00	
17 日（日）	: 8:30－18:00	

■託児室・授乳室

大会会場に託児室を設けます。第二エリア（9 月 15-17 日）は 2C 棟 4 階 412 室、春日エリア（9 月 18 日）は 7B 棟 2 階 218 室になります。利用は事前に申し込んだ方に限ります。

授乳室では、授乳・オムツ替え・着替えをすることができます。このスペースは予約なし、無料でご利用頂けます。第二エリア（9 月 15-17 日）は 2C 棟 4 階 412 室、春日エリア（9 月 18 日）は 7B 棟 2 階 218 室になります。

15 日（金）	: 13:30－18:00	第二エリア	2C 棟
16 日（土）	: 9:00－20:30	第二エリア	2C 棟
17 日（日）	: 9:00－18:30	第二エリア	2C 棟
18 日（月・祝）	: 9:00－13:00	春日エリア	7B 棟

■大学駐車場の利用

筑波大学の駐車場には事前手続きなく入場できません。利用は 8 月 31 日までにメールにて予約した方に限ります。

■キャンパス内での喫煙・ゴミ

筑波大学は指定の喫煙場を除き構内全面禁煙です。
会場で発生したゴミはお持ち帰り下さい。

大会プログラム



つくばの野鳥 フクロウ *Strix uralensis*(つくば市の鳥)

■公開シンポジウム

『生態学者 vs 外来生物

本気で根絶，本気で再生 奄美・沖縄・小笠原』

日時：2017年9月18日（月・祝）9:30～12:00

場所：春日講堂（筑波大学 春日エリア）

コーディネーター：川上和人・小高信彦（森林総研）

趣旨：

外来生物は鳥類保全上の大きな課題です。特に島では問題が深刻化しており，多くの駆除事業がおこなわれています。しかし，各地で駆除を経験した結果，次なる問題が生じてきました。駆除の技術的限界，地元との合意形成の難しさ，予想以上に複雑な生物間相互作用などに直面し，駆除すれば解決という単純なものではないことがわかってきたのです。

意外にも鳥学会大会では，これまで外来生物問題をテーマとした公開シンポジウムが行われていません。そこで今年は奄美，沖縄，小笠原の事例を紹介して議論を行います。外来生物は社会的な問題であり，行政や専門家のみでは解決できません。情報共有と課題解決のため，学生や一般の方も含め多様な立場の方をお待ちしております。

プログラム：

09:30-09:40	開催主旨	川上和人（森林総研）
09:40-10:20	「激動の奄美：大詰めのマングース対策，回復する希少種，それを食べだしたノネコ」	亘 悠哉（森林総研）
10:20-10:40	回復する森林生態系：沖縄島北部やんばる地域の固有鳥類と外来種マングース対策」	小高信彦（森林総研）
10:40-11:05	「やんばるの森の脅威 ノイヌ，ノネコ問題 ～終わりになき戦いを終わらせるために～」	長嶺隆（どうぶつたちの病院沖縄）
11:05-11:45	「海洋島小笠原の憂鬱：対策は1種2種では足りません」	川上和人・堀越和夫（小笠原自然文化研究所）
11:45-12:00	総合討論	

本公開シンポジウムは，平成29年度日本学術振興会科学研究費補助金（17HP0021）の助成を受けています。

■黒田賞受賞講演

長谷川 克（総合研究大学院大学）

日本の街並みでみられるツバメの性選択

日時：9月17日（日）15：30～16：30

場所：第二エリア 2H棟1階101大講義室

■口頭発表

9月16日 午前A会場（2H101）

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
9:00	A01	クマタカの季別・雌雄別行動圏 —定住型と移動型—	○阿部 學, 中島拓也, 橋本哉子 (ラプタージャパン: 日本猛禽類研究機構)
9:15	A02	クマタカ雛への給餌動物とその量・熱量	阿部 學, 中島拓也, 橋本哉子, ○小西恵子 (ラプタージャパン: 日本猛禽類研究機構)
9:30	A03	小型行動記録装置を用いた積雪時期のクマタカの採食行動研究	松本経 (北見工大)
9:45	A04	里山に生息する猛禽サシバの繁殖タイミングと餌動物量の緯度勾配	○藤田 剛 (東大・農)・東 淳樹 (岩手大・農)・野中 純 (オオタカ保護基金)・堺 義昭・堺 初美 (印西サシバの会)・伊関文隆 (希少生物研究会)・植田睦之 (バードリサーチ)・栗山武夫 (兵庫県立大)・須和健太 (弘前大)・杉山大和 (岩手大)・清川紘樹 (東大)・黒江美紗子 (長野県環境保全研究所)・東 信行 (弘前大)・宮下 直 (東大)
10:00	A05	サシバのフェノロジー (繁殖, 越冬, 渡り, 行動圏, 利用環境)	阿部學 ○中島拓也 橋本哉子 (ラプタージャパン 日本猛禽類研究機構)
10:15	A06	鳥類の風車回避行動と風車運用後の飛翔数の変化	○森口紗千子 ¹ , 小町亮介 ² , 向井喜果 ² , 笠原里恵 ³ , 柏木敦士 ³ , 高橋雅雄 ³ , 山田新太郎 ² , 清水瑛人 ² , 佐藤雄大 ² , 山田芳樹 ⁴ , 東信行 ³ , 関島恒夫 ¹ (1 新潟大・農, 2 新潟大・院・自然, 3 弘前大・農学生命, 4 (株)ドーコン)
10:30	A07	風力発電所建設による鳥類の繁殖密度の激減 (稼働開始 1 年後)	武田恵世 (日本野鳥の会・三重)
10:45	A08	埼玉県丘陵地におけるタカ類 5 種の過去 50 年間の繁殖個体群動態	○内田博*・高柳茂*・鈴木伸*・渡辺孝雄*・納見正明*・石松康幸*・青山信*・櫻井正純*・浦田政雄*・沖浩志* (*比企ウシタカ研究会)
11:00	A09	西表島におけるカンムリワシ繁殖個体の林縁利用	○晝間さよこ (東海大院・人間環境)・水谷晃 (東海大・沖縄地域研)・中本純市 (石垣 BIRD 観察)・田中詩織 (東海大院・人間環境)・武藤大輔 (東海大・海洋)・網倉真太郎 (東海大・海洋)・藤野裕弘 (東海大・教養)・河野裕美 (東海大・沖縄地域研)
11:15	A10	「シマフクロウ見守りウエブサイト」が保全に及ぼす正と負の効果	○早矢仕有子 (北海学園大)・愛甲哲也 (北大大学院農学研究院)
11:30	A11	りんご果樹園に営巣したフクロウのハタネズミ個体数抑制効果	○ムラノ千恵 (岩手連大)・東信行 (弘前大)

9月16日 午前B会場（2H201）

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
9:00	B01	巣立ったアホウドリはどこへ行く？	Rachael A. Orben ¹ , Amelia J. O'Connor ¹ , Robert M. Suryan ¹ , 尾崎清明 ² , 佐藤文男 ² , 出口智広 ² 1 オレゴン州立大学・2 公益財団法人 山階鳥類研究所
9:15	B02	伊豆諸島八丈小島, アホウドリ類の島へ	森 由香（伊豆諸島自然史研）・岩崎由美（伊豆諸島自然史研）・樋口広芳（慶應大学）
9:30	B03	伊豆諸島鳥島で同所的に繁殖するアホウドリ2系統の非繁殖期の利用海域	○佐藤文男・富田直樹（山階鳥研）・Jean-Baptiste Thiebot（極地研）・西沢文吾（北大院水産）・江田真毅・泉洋江（北大総合博物館）・綿貫豊（北大院水産）
9:45	B04	春のウトウ親鳥が食べる餌の海域による差	○林はるか・大門純平（北大・院・水産）・桑江朝比呂（港湾空港技術研究所）・伊藤元裕（東洋大・生命科学）・綿貫豊（北大院・水産）
10:00	B05	北海道天売島で繁殖するウトウとウミウのレジームシフトに伴う餌消費量の変化	○大門純平（北大・院・水産）・伊藤元裕（東洋大・生命科学）・綿貫豊（北大・院・水産）
10:15	B06	ウトウの産卵前エクソダス	○綿貫豊・久保愛奈（北大水産）・J-B Thiebot・高橋晃周（国立極地研）
10:30	B07	コアジサシ <i>Sterna albifrons</i> の体重の地域差について	○室伏龍（公財日本鳥類保護連盟）・早川雅晴（植草学園大）・藤井幹（公財日本鳥類保護連盟）
10:45	B08	日本からのアメリカコアジサシの記録とコアジサシとアメリカコアジサシの初交雑記録	○茂田良光（公財山階鳥類研究所）・藤井幹（公財日本鳥類保護連盟）・小田谷嘉弥（我孫子市鳥の博物館）・奴賀俊光（日本野鳥の会）・箕輪義隆（千葉市野鳥の会）・徳元茂・杉山好子・隈部修（波崎愛鳥会）
11:00	B09	日本に飛来するコクガン地域個体群の繁殖地の検討	○澤祐介（バードライフ）・池内俊雄（雁の里親友の会）・佐藤達夫（行徳野鳥観察舎）・嶋田哲郎（伊豆沼財団）・土方直哉（里山自然史研）・時田賢一（岩大）・内田聖（我孫子市）・呉地正行（雁を保護する会）・杉野目斉（仙台市役所）・樋口広芳（慶大）
11:15	B10	コクガンの春の渡り経路の推定	○嶋田哲郎（伊豆沼財団）・土方直哉（里山自然史研究会）・時田賢一（岩手大）・内田聖（我孫子市）・呉地正行（雁を保護する会）・杉野目 斉（仙台市役所）・樋口広芳（慶大）
11:30	B11	ペンギンの胃から見つかる石はなんのため？	○久志本鉄平, 新田理枝, 立川利幸（下関市立しものせき水族館）

9月16日 午後A会場（2H101）

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
13:00	A12	福島における巣箱でのフクロウの繁殖	○西海 功（科博・動物）・坂本大地（九大院・地社）・樋口亜紀（科博・動物）
13:15	A13	主要組織適合遺伝子複合体（MHC）にもとづく亜種ダイトウコノハズクの配偶者選択	○澤田明（大阪市大・院理），安藤温子（国環研），高木昌興（北大・院理）
13:30	A14	マイクロサテライト・マーカーを用いたチョウゲンボウの個体識別	○黒尾 正樹・鈴木 千尋・田中 駿・佐々木 七星・長内 淳次・石田 清（弘前大学 農学生命科学部 生物学科）
13:45	A15	エゾライチョウの生息動向	玉田克巳（道総研・環境）
14:00	A16	ヤンバルクイナの野生復帰試験	○尾崎清明（山階鳥研）・渡久地豊（工房リュウキュウロビン）・玉那覇彰子（どうぶつたちの病院沖縄）・向真一郎（どうぶつたちの病院沖縄）
14:15	A17	佐渡には何羽のトキが生息できるのか？（予報）	○永田尚志・中津弘・油田照秋（新潟大）
14:30	A18	放鳥トキは水田のどこで採餌するか？	○中津弘（新潟大 朱鷺・自然再生学研究センター）・油田照秋（新潟大 朱鷺・自然再生学研究センター）・永田尚志（新潟大 朱鷺・自然再生学研究センター）
14:45	A19	再導入されたトキにおける性的刷り込み	○岡久雄二（環境省佐渡自然保護官事務所），金子良則（新潟県トキ保護センター），永田尚志（新潟大 朱鷺・自然再生学研究センター），尾崎清明（山階鳥類研究所）
15:00	A20	居候コウノトリの生態—なわばり所有者との関係に着目して	○桑原里奈（兵庫県立大）・江崎保男（兵庫県立大）
15:15	A21	コウノトリ <i>Ciconia boyciana</i> 餌場の季節変動—識別個体の目撃情報より—	○松山 圭希（兵庫県立大・大学院・地域資源マネジメント研究科※現所属：豊岡市市民生活部）・江崎 保男（兵庫県立大・大学院・地域資源マネジメント研究科）

9月16日 午後B会場(2H201)

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
13:00	B12	オオミズナギドリの採餌行動の年比較	○松本祥子(名大・院・環境学)・山本麻希(長岡技大・生物)・依田憲(名大・院・環境学)
13:15	B13	鳥の速度データに円柱上の多変量確率分布モデルを活用する事例	島谷健一郎(統計数理研究所)
13:30	B14	海鳥を介した汚染物質輸送	○庄子晶子(北大), K. Elliott (McGill Univ.), S. Aris-Brosou (Ottawa Univ.), 水川葉月・中山翔太・池中良徳・石塚真由美(北大), 桑江朝比呂, 渡辺謙太(航港研), 綿貫豊(北大)
13:45	B15	抱卵期のウミネコの採餌環境利用の性差	○風間健太郎(北大)・西沢文吾(北大)・塚本祥太(北大)・Jordi E. Gonzalez (バルセロナ大)・風間麻未(北大)・綿貫豊(北大)
14:00	B16	東京都心におけるウミネコの屋上集団繁殖地の移動	○松丸一郎(都市鳥研究会)・富田直樹(山階鳥研)・澤祐介(バードライフ・インターナショナル東京)・奴賀俊光(日本野鳥の会)・佐藤達夫(行徳野鳥観察舎友の会)・樋口広芳(慶應大・自然科学研究教育センター)
14:15	B17	孵化時テロメア長を決めるのは親の影響か環境か	○水谷友一(名大院)・新妻靖章(名城大)・依田憲(名大院)
14:30	B18	絶滅ムコジマメグロのDNA配列の復元	○杉田典正(科博・植物)・川上和人(森林総研)・西海功(科博・動物)
14:45	B19	亜種サドカケスの形態および遺伝的特徴による分類の再検討	○岩見恭子(山階鳥類研究所)・青木大輔(北大・理学院)・高木昌興(北大・理学研究院)
15:00	B20	家禽化に伴うセキショクヤケイの骨形態の変化	江田真毅(北大)
15:15	B21	ハシボソガラスと共存するハシブトガラスの頭骨3次元形態の形質置換	○山崎剛史(山階鳥研)・青木颯・土岐田昌和(東邦大)

9月17日 午前A会場（2H101）

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
9:00	A22	シジュウカラギルドが伊豆諸島で安定的に共存する要因	○藤田 薫（東邦大地理生態・バードリサーチ）・藤田 剛（東大農学生命科学）・長谷川雅美（東邦大地理生態）・樋口広芳（慶應大自然科学研究教育センター）
9:15	A23	文法を操るシジュウカラは初めて聞いた文章だって正しく理解できる	鈴木俊貴（京大）
9:30	A24	猛毒植物シキミ <i>Illicium anisatum</i> の種子はヤマガラによって散布される	○吉川徹朗（京都大）・正木隆（森林総研）・本岡允・日野大智・上田恵介（立教大）
9:45	A25	渡り鳥による種子散布ネットワークの構造と主要散布種の機能について	○大河原恭祐（金沢大）・木村一也（石川県森林組合）・佐藤文男（山階鳥類研究所）
10:00	A26	高病原性鳥インフルエンザ感染例における野鳥と家禽の疫学的な関連について	小泉伸夫（農研機構）
10:15	A27	新潟市近郊におけるハクチョウの鳥インフルエンザ感染事例の原因究明について	小柳充（新潟大）
10:30	A28	鳥の構造色と紫外線反射	浅間茂（千葉生態系研）
10:45	A29	鳥の卵： 博物学シリーズ第2弾	黒沢令子（バードリサーチ）
11:00	A30	電柱鳥類学：鳥の利用状況 ～都市鳥にとっての止まり木としての電柱の実態把握～	○森本 元（山階鳥研）・上野裕介（石川県立大）・三上 修（北海道教育大）
11:15	A31	Sacvitzky Golay 法でノイズ除去した鳥類心電図の PR, RP 間隔	○中田 薫（東海大学）・猪口貞樹（東海大学）・中島 功（東海大学）・田中幸恵（東海大学）・三橋國嶺（星槎大学）・秦 順一（実験動物中央研究所）
11:30	A32	絶滅した恐竜類・鳥類の卵が何日で孵化したか推定する	○田中康平（名古屋大博）・Darla Zelenitsky（カルガリー大）・François Therrien（王立ティレル古生物博物館）

9月17日 午前B会場（2H201）

開始時刻	発表番号	タイトル	発表者
9:00	B22	ペンキ卵によるカラスの忌避効果実験Ⅱ	○早川雅晴 ¹²⁷ ・松村雅行 ² ・内海彰 ²³ ・松原始 ⁵ ・森下英美子 ⁶ ・奴賀俊光 ²⁴⁷ ・北村亘 ²³ ・箕輪義隆 ⁷ 1. 植草学園大 2. リトルターン・プロジェクト 3. 東京都市大 4. 日本野鳥の会 5. 東大総研博物館 6. 文京学院大 7. 水鳥研究会
9:15	B23	福島県富岡町における鳥類の生息状況について -2017年経過報告-	○板谷浩男（緑生研究所，浜通り生物研究会 DREAM24），木本祥太（日本野鳥の会石川，浜通り生物研究会 DREAM24），鬼久保正浩（浜通り生物研究会 DREAM24）
9:30	B24	メジロの盗蜜が6年周期一斉開花植物コダチスズムシソウに与える影響	○柿嶋聡（科博・植物），鈴木俊貴（京大・生態研）
9:45	B25	東京島嶼の鳥類繁殖分布調査	○佐藤望 ¹ ・望月英夫・北村亘 ² ・藤田薫 ¹³ ・川内博 ⁴ ・山本裕 ⁵ ・森由香 ⁶ ・上田恵介 ⁷ ・葉山雅広 ⁸ ・植田睦之 ¹ 1 バードリサーチ，2 東京都市大学，3 東邦大，4 日本野鳥の会東京，5 日本野鳥の会，6 東京都鳥獣保護管理官，7 立教大，8 東北鳥研小笠原
10:00	B26	八代海におけるクロツラヘラサギの越冬個体数変動と越冬個体の生息地利用	○高野茂樹（日本野鳥の会熊本県支部）
10:15	B27	岡山県高梁市におけるブッポウソウの生態調査	○黒田聖子・江崎保男（兵庫県立大・資源マネジメント）
10:30	B28	日本のカッコウも特定の種に托卵しているか？	○今西貞夫（国分寺市）・須田裕司（立教大・理）・Diana Bolopo（Valladolid 大）・上田恵介（立教大）
10:45	B29	千曲川におけるイカルチドリとコチドリの営巣環境と食物内容の比較	笠原里恵（弘前大・農学生命）
11:00	B30	都市近郊のため池で繁殖する鳥類・19年間の推移	風間美穂（きしわだ自然資料館）
11:15	B31	ハワイに移住したメジロはその生活を変えたか	○堀江明香（バードリサーチ），高田陽（明治大・農）

■ポスター発表

- 16日（土）15:30－18:00（15:30-17:00は奇数番号コアタイム）。
- 17日（日）13:00－15:30（13:00-14:30は偶数番号コアタイム）（#はポスター賞応募）。
- P117 から P135 は奇数番号（16日にコアタイム）が続きますのでご注意ください。

発表番号	会場	タイトル	発表者
P001	2C107	北海道アイヌにおけるフクロウ類の呼称に関する研究 —聴き取り調査資料を中心的題材として—	山本晶絵（北大）
P002#	2C107	ダイトウコノハズクの育雛期における採餌環境利用様式	○澤田純平（大阪市大）・岩崎哲也（大阪市大）・中西啄実・高木昌興（北大）
P003		（欠番）	
P004#	2C107	南大東島におけるリュウキュウコノハズクのFRP製巣箱への誘致と繁殖成功	○永井秀弥（北海道大）・高木昌興（北海道大）・澤田明（大阪市大院理）
P005	2C107	越冬期におけるチュウヒ類の全国一斉個体数調査（2014～2017年）	○多田英行（日本野鳥の会・岡山）・平野敏明（バードリサーチ）
P006#	2C107	フクロウ <i>Strix uralensis</i> 繁殖場所における鳥類・哺乳類による大型巣箱の利用及び訪問	○草間由紀子（横浜国大院・環）・小池文人（横浜国大院・環）・滝沢和彦（日本野鳥の会長野支部）
P007	2C107	北海道北部オホーツク海側に生息するチュウヒのつがい間における個体の入れ替わりについて	○土門優介・工藤晃央・鈴木祐太郎・中村紘喜・宮庄理子（（株）ドーコン）・一北民郎（北電総合設計（株））・先崎啓究・先崎愛子（道央鳥類調査グループ）・川崎康弘・川崎里実（日本野鳥の会オホーツク支部）
P008#	2C107	リンゴ園地帯における繁殖期のフクロウの生息環境特性	○日詰文太 ¹ 、ムラノ千恵 ² 、東信行 ¹ （1 弘前大・院・農生、2 岩手大連合・農）
P009	2C107	オガサワラノスリ幼鳥の冬から春の行動域	○葉山雅広（東北鳥研小笠原）・野中 純（オオタカ保護基金）・由井正敏（東北鳥類研究所）
P010#	2C107	サロベツ湿原における繁殖期のチュウヒの営巣環境選択	○平井千晶（東京都市大学）・長谷部真（NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク）・浦達也（公益財団法人 日本野鳥の会）・西林直哉（一般財団法人 日本気象協会）・北村亘（東京都市大学）
P011	2C107	越冬地におけるノスリ <i>Buteo japonicus</i> の行動圏と利用環境	○中原 亨（長崎大・院・水環）・平野明日香（長崎大・環境）・雀ヶ野孝（長崎大・環境）・伊関文隆（希少生物研究会）・中山文仁（（一財）自然環境研究センター）・山口典之（長崎大・院・水環）
P012#	2C107	風力発電アセスにおけるオジロワシの鳥衝突モデルのパラメータの精度検証（回避率の精度検証）	○鈴木祐太郎・山口珠輝・山田芳樹（（株）ドーコン）・河口洋一・藪原佑樹（徳島大）・赤坂卓美（帯広畜産大）・森口紗千子・関島恒夫（新潟大）
P013	2C107	風力発電所における死骸残留率の季節による違い	○北野雅人（（株）竹中工務店）、猪野雅史（東農大院（現所属：サン技術コンサルタント（株）））、白木彩子（東農大・生物産業）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P014#	2C107	宗谷地方におけるオジロワシの営巣地選択の要因	○柏木聖哉 ¹ 西林直哉 ^{1,2} 長谷部真 ³ 浦達也 ^{1,4} 北村亘 ¹ [1 東京都市大学, 2 (一財) 日本気象協会, 3 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク, 4 (公財) 日本野鳥の会]
P015	2C107	風切羽根の特徴からみたイヌワシ個体間の類似性	前田 琢 (岩手県環境保健研究センター)
P016#	2C107	西表島の低地における 1979 年と 2006 年のカンムリワシ生息環境の比較検討	○田中詩織 (東海大院・人間環境)・水谷 晃 (東海大・沖縄地域研)・山本誉士 (名古屋大院・環境)・晝間さよこ (東海大院・人間環境)・武藤大輔 (東海大・海洋)・網倉真太郎 (東海大・海洋)・北野 忠 (東海大・教養)・河野裕美 (東海大・沖縄地域研)
P017	2C107	オオタカ <i>Accipiter gentilis</i> の鳴き声回数の変化 ＜求愛造巣期, 抱卵期, 再繁殖＞	○松岡和樹 (地域環境計画)・嘉藤慎讓 (地域環境計画)・米田裕之 (北海道恵庭市)・浅利裕伸 (帯広畜産大学)
P018#	2C107	オオタカの種分布モデル：生息環境の異質性を考慮した分析	○夏川遼生 (横浜国大)・松田裕之 (横浜国大)
P019	2C107	猛禽類観察でのドローンの有効性 (予備検討)	○中島京也 (日本ワシタカ研究センター)・竹田義次 (日本ワシタカ研究センター)・片野拓 (日本ワシタカ研究センター)
P020#	2C107	内陸部におけるミサゴの生息地選択要因—ダム湖に着目して—	○榊原貴之 (岩手大・農)・一柳英隆 (水源環境センター)・東淳樹 (岩手大・農)
P021	2D205	マイクロフォンアレイを用いた野鳥観測： ソウシチョウの歌行動をめぐる予備的調査報告	○松林志保 (大阪大学)・斎藤史之 (いであ株式会社)・鈴木麗瑩 (名古屋大学)・中臺一博 (東京工業大学, ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)・奥乃博 (早稲田大学)
P022#	2D205	マイクロホンアレイを利用したウグイスの歌行動の時空間分析	○炭谷晋司 (名古屋大)・鈴木麗瑩 (名古屋大)・有田隆也 (名古屋大)・松林志保 (大阪大)・中臺一博 (東工大, HRI-JP)・奥乃博 (早稲田大)
P023	2D205	みんなで作って, みんなで使おう：原発事故被災地での録音音声を用いた野鳥愛好家・研究者協働の試み	○熊田那央・深澤圭太・三島啓雄・竹中明夫・吉岡明良・勝又聖乃・羽賀淳・久保雄広・玉置雅紀 (国立環境研究所)
P024	2D205	音声解析による鳥類群集のササ群落利用特性の解明	○森塚晶人 (千葉大院・園芸)・梅木清 (千葉大院・園芸)・平尾聡秀 (東大・秩父演習林)
P025	2D205	音声認識技術の活用によるシマフクロウ生息調査 —音源からの距離と検出数の関係—	○斎藤睦巳 (富士通九州ネットワークテクノロジー株式会社)・原田修・松本潤慶・竹前朝子・田尻浩伸 (公益財団法人日本野鳥の会)
P026#	2D205	カグーの音声コミュニケーションの理解に向けた音声解析	○大神康二 ¹ ・Jörn Theuerkauf ² ・佐藤望 ³ ・白石利郎 ⁴ ・菊地デイル万次郎 ¹ ・北村亘 ¹ ・吉崎真司 ¹ (1 東京都市大学, 2 Polish Academy of Sciences, 3 バードリサーチ, 4 横浜市繁殖センター)

発表番号	会場	タイトル	発表者
P027	2D205	夜明け時間帯に大磯丘陵で聞かれた鳥の鳴き出し時間と水平面照度	大坂英樹（こまたん）
P028	2D205	カラスの方言？～ハシブトガラスにおけるコンタクトコールの地域間変異	○島田将喜（帝京科学大）・井上るい（帝京科学大）
P029	2D205	練習するには理由がある？ ブンチョウ幼鳥の求愛ディスプレイの発達	○遠藤理香（北大・生命科学院）・相馬雅代（北大・院理・生物）
P030	2D205	日本鳥類目録改訂第7版で採用された学名は正しいのだろうか？	○浅井芝樹（山階鳥研）・岩見恭子（山階鳥研）・斉藤安行（我孫子市鳥の博物館）・亀谷辰朗（山階鳥研）
P031	2D205	IOC 世界の鳥類リスト準拠日本産鳥類目録と和名の諸問題、英語圏バーダーのための和名のローマ字表現	中村進（大阪府立岸和田高校）
P032	2D205	コジュリンの2点のタイプ標本の現状と採集情報	○加藤克（北海道大）・Andrew Davis（Max Planck Inst.）
P033	2D205	足で獲物を捕らえるトリの趾骨について、追加報告	小木曽チエ
P034	2D205	鳥類における弁足の多様化機構—胚発生 の種間比較から探る—	○松下浩也（東邦大）・土岐田昌和（東邦大）
P035	2D205	ハシブトガラスとハシボソガラスの趾と肉趾の比較	○土橋由菜・青山真人・栗原望・杉田昭栄（宇都宮大・農・動物機能形態）
P036	2D205	鳥類の地上と樹上での歩行の関連性	山崎優佑（㈱東京測器研究所）
P037	2D206	青森県蕪島におけるウミネコの水銀汚染	後藤綾太（名城大農）・大浦健（名城大農）・水谷友一（名古屋大環）・○新妻靖章（名城大農）
P038#	2D206	鳥類医学の発展に向けた新規腎障害マーカーの探索	○石井 千尋（北海道大）、池中 良徳（北海道大）、川合 佑典（帯広畜産大）、市居 修（北海道大）、中山 翔太（北海道大）、水川 葉月（北海道大）、石塚 真由美（北海道大）
P039	2D206	出水市におけるツル類の高病原性鳥インフルエンザ発生状況	○原口優子（出水市ツル博物館クレインパークいずみ）・茂原晴代（東干拓ツル保護監視員）・溝口文男（出水のツルと野生生物研究会）
P040#	2D206	ツル科における MHC クラス I 領域の多様性と進化	○秋山拓哉（北大）・西田千鶴子（北大）・増田隆一（北大）
P041	2D206	野鳥における 2016-2017 年の高病原性鳥インフルエンザ感染	○金井 裕（日本野鳥の会）・森口紗千子（新潟大学・農）
P042	2D206	琵琶湖周辺に飛来するヒドリガモの腸内細菌の群集構造解析	○見坂武彦（大阪大谷大）・藤光 隆司（大阪大谷大）・片岡 憲司（大阪大谷大）・谷佳津治（大阪大谷大）
P043	2D206	スズメ <i>Passer montanus</i> における胚の性特異的死亡：生態学的要因とその帰結	○加藤貴大・沓掛展之（総研大・先端科学）
P044#	2D206	渡り中継地におけるオオジシギの換羽状況	小田谷嘉弥（我孫子市鳥の博物館）
P045	2D206	マイクロ波を使った鳥類の心拍呼吸モニター装着タイプの開発	○中島 功（東海大学）・中田 薫（東海大学）・猪口貞樹（東海大学）・内藤佳津子（東海大学）・三橋國嶺（星槎大学）・秦 順一（実験動物中央研究所）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P046#	2D206	スズメ <i>Passer montanus</i> 乳酸脱水素酵素の反応特性	○橋間清香（秋大院・生命）・後藤樹史（秋大院・生命）・加藤貴大（総研大・先導科学）・涌井秀樹（秋大院・生命）・布村 渉（秋大院・生命，秋大院・理工研セ）
P047	2D206	鳥類におけるグルクロン酸抱合能の種差の解明と化学物質感受性の推定	○新屋 惣（北海道大），池中 良徳（北海道大），中山 翔太（北海道大），水川 葉月（北海道大），伊藤 真輝（円山動物園），高江洲 昇（円山動物園），齊藤 慶輔（猛禽類医学研究所），渡邊 有希子（猛禽類医学研究所），石塚 真由美（北海道大）
P048#	2C204	洋上風力発電建設が粟島で繁殖するオオミズナギドリの行動に与える影響	○川津風花（長岡技大・生物），白井正樹（電中研・生物），依田憲，松本祥子（名大・環境），望月翔太（新潟大），山本麻希（長岡技大・生物）
P049	2C204	複数の風発事業に対する環境影響評価の現状と課題—石狩地域を例に—	○謝倩氷（北海道大学大学院環境科学院）・長谷川理（NPO 法人 EnVision 環境保全事務所）・藤井賢彦（北海道大学大学院環境科学院）
P050	2C204	順応的管理手法を活用した環境影響評価における渡り鳥の飛翔予測	○見上伸・高橋雅也・根本玲央（㈱日立パワーソリューションズ） 松田裕之・谷圭一郎・佐々木茂樹（横浜国立大学）
P051	2C204	北海道東部太平洋におけるアホウドリ類の洋上分布	○千嶋淳 ^{1・2・3} ・片岡義廣 ² ・久保清司 ^{3・5} ・青木則幸 ² ・城石一徹 ⁶ ・長雄一 ^{2・4} ・長田宏子 ^{2・5} （1 道東鳥類研究所，2 エトピリカ基金，3 浦幌野鳥倶楽部，4 道総研環科研，5 野鳥の会十勝支部，6 野鳥の会オホーツク支部）
P052	2C204	京都府冠島におけるオオミズナギドリの生残率推定	須川恒（龍谷大学深草学舎・冠島調査研究会）
P053	2C204	宮崎県枇榔島におけるカンムリウミスズメの最大の捕食者，カラス類，に関する基礎調査	○ ¹ 大槻都子， ² Harry Carter， ¹ 中村豊 1 海鳥保全グループ，2 Carter Biological Consulting.
P054#	2C204	チドリ目における対捕食者行動の決定要因：種間比較による検討	○西條未来・沓掛展之（総研大・先導研）
P055	2C204	カシラダカの就峙行動と就峙個体数の季節的・経年変化	平野敏明（バードリサーチ）
P056#	2C204	リンゴ果樹園におけるアカモズの生態と生息状況	○松宮裕秋（信州大）・原星一・堀田昌伸（長野県環境保全研究所）・泉山茂之（信州大）
P057	2C204	ムクドリの集団峙が都市環境にできる要因の分析 —ビル壁の存在が重要な条件だった—	越川重治（都市鳥研究会）
P058#	2C204	モズ <i>Lanius bucephalus</i> の雄は貯えた早贄を消費して，雌誘引で重要な歌速度を獲得する	○西田有佑（大阪市大）・高木昌興（北海道大）
P059	2C204	大槌川および大槌湾における鳥類によるサケの人工孵化放流魚の捕食	○伊藤元裕（東洋大生命科学）・阿部貴晃・佐藤信彦・北川貴士（東大大海研）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P060#	2C204	ササゴイの2つの餌釣り戦略	○岡本浩太郎（熊本大・院・自然）逸見泰久（熊本大・水循環セ）
P061	2C204	関東地域のカワウ生息状況の変化（1994年～2015年）	○加藤 かなえ（バードリサーチ）・熊田 那央（バードリサーチ）
P062#	2C204	カワウ・アオサギ混合コロニーにおける営巣位置と繁殖成績	○本多里奈（弘前大・院）・東信行（弘前大）
P063	2C204	抱卵段階でのカワウコロニーでのビニル紐張り法による忌避効果とその持続期間	伊豆川哲也（オリエンタルコンサルタンツ）
P064#	2C204	カワウの繁殖期における環境と食性の変化	○土屋 健児（元名城大・農）・新妻 靖章（名城大・農）
P065	2C204	コウノトリによる稲の踏み倒しの影響－コウノトリは害鳥なのか－	○遊部久瑠美 ¹ ・大迫義人 ^{1, 2} （1 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科, 2 兵庫県立コウノトリの郷公園）
P066#	2C204	認証制度を軸にしたトキの生息地再生とその順応的管理	○小町亮介（新潟大・院・自然科学）・向井喜果（新潟大・院・自然科学）・鎌田泰斗（新潟大・院・自然科学）・望月翔太（新潟大・農）・関島恒夫（新潟大・農）
P067	2C204	人工衛星による再導入コウノトリの追跡	○大迫義人・江崎保男（兵庫県立大・大学院・地域資源マネジメント, 兵庫県立コウノトリの郷公園）
P068	2B206	登山者情報をもとにしたライチョウの生息状況把握の有効性	○堀田昌伸・高野宏平（長野県環境保全研）・津山幾太郎（森林総研）・比嘉基紀（高知大）・尾関雅章（長野県環境保全研）・中尾勝洋・松井哲哉（森林総研）・竹内祥生（信州大）・畑中健一郎（長野県自然保護課）
P069	2B206	市民データから推定した茨城県龍ヶ崎市のコジュリン繁殖期個体数	○伊東宏樹（森林総研北海道, 龍ヶ崎バードウォッチングクラブ）・岸久司（龍ヶ崎バードウォッチングクラブ）
P070#	2B206	超市民データ「探鳥会」の記録から読み解く東京都心とその周辺におけるオオタカの都市進出状況	○水村春香（東大・院・農学）・久保田耕平（東大・院・農学）
P071	2B206	ツイッターを利用した長期的な野鳥観察情報の収集と、内容の傾向（アオサギの観察情報に着目して）	白井 剛（都留文科大）
P072	2B206	岐阜県内の高等学校に保管されていた剥製標本について	説田健一（岐阜県博物館）
P073	2B206	山階芳麿著「日本の鳥類と其の生態」－書誌学的研究の試み－	鶴見みや古（山階鳥類研究所）
P074	2B206	カラ類巣材の放射性セシウム濃度、一腹卵数の汚染地域と非汚染地域間の比較	○山本裕（日本野鳥の会）・松村直登（NPO 法人がんばる福島）・五十嵐悟（福島市小鳥の森）・吉丸博志（森林総合研究所）・森敏（NPO 法人 WINEP）
P075	2B206	トドマツ人工林における巻き枯らし間伐木のキツツキによる採餌利用	○雲野明（道総研林試）・小野寺賢介（道総研林試）
P076#	2B206	人工林の伐採はヨタカに生息地を提供するか？北海道中部での経年調査	○河村和洋（北大・院・農）・山浦悠一（森林総研・植生）・中村太士（北大・院・農）
P077	2B206	ヒノキ林に架設した巣箱へのカラス類の攻撃と巣穴への行動	中村充博（森林総研）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P078#	2B206	なぜ鳥は採食パッチを飛び去るのか？～鳥の行動生態学と種子散布研究を結ぶ～	○奥野修平（日大・生物資源）・中島啓裕（日大・生物資源）
P079	2B206	チョイワルどころじゃない？擬巣でのクリハラリスによる卵の捕食	○関伸一（森林総研・関西）・安田雅俊（森林総研・九州）
P080#	2B206	同所的に繁殖したニューナイスズメとスズメの給餌内容	○鈴木遥菜（弘前大・院・農生）・高橋雅雄（日本学術振興会／弘前大・農生）・蛭名純一（NPO 法人おおせっからんど）・東信行（弘前大・院・農生）
P081	2B206	スズメによる雑草抑制効果	山口恭弘（農研機構・中央農研）
P082	2B206	カラスによる農業用ビニールハウスの損傷行動	○吉田保志子・佐伯緑（農研機構・中央農研・鳥獣害）
P083	2B206	枇榔島におけるハシボソガラスの採食内容	○箕輪義隆（海鳥保全グループ）・Nina Karnovsky（ポモナ大学）・中村豊（海鳥保全グループ）・大槻都子（海鳥保全グループ）・Harry Carter（カーター生物コンサル）・Darrell Whitworth（カリフォルニア環研）
P084	2B207	宮城県と岩手県一関市周辺で越冬する2種のハクチョウ類の割合（環境省ガンカモ類生息調査と比較して）	平泉秀樹（日本雁を保護する会）
P085	2B207	GPS-TX を用いたマガモの飛行ルート調査（予報）	○田米希久代・櫻井佳明・中野夕紀子 ¹⁾ ²⁾ ・田尻浩伸 ^{3) 4)} ・山本芳夫 ³⁾ ・矢澤正人 ⁵⁾ ・時田賢一 ⁶⁾ ・櫻井佳由利 ¹⁾ 1) 鴨池自然研 2) 鴨池観察館 3) 鴨池観察館友の会 4) (公財) 日本野鳥の会 5) 数理設計 6) 岩手大
P086	2B207	ドローンを使ったガンカモ類のカウント	神山和夫
P087	2B207	ガンカモ一斉調査結果を活用したガン類渡来羽数変動要因に係る検討（その3）	○尾原正敬（(株)千代田コンサルタント）
P088#	2B207	DNA バーコーディング法と安定同位体比分析を組み合わせたオオヒシクイの食性解析	○向井喜果（新潟大・院・自然科学）・安藤温子（国立環境研究所）・布野隆之（兵庫県立人と自然の博物館）・関島恒夫（新潟大・農）
P089	2B207	水田における育雛期のチュウサギの採食行動の時間的变化	宮田瑞輝（名城大）
P090	2B207	Migration of Vega Gulls tracked in East Asia	○Tehan Kang (KoEco)・Si-Wan Lee (KoEco)・Hansoo Lee (KoEco)
P091	2B207	オオジシギの渡り経路の衛星追跡	○竹前朝子、田尻浩伸、浦達也、葉山政治、大畑孝二、富岡辰先、中村聡（公益財団法人 日本野鳥の会）
P092#	2B207	GPS データロガーによるリュウキュウアカショウビンの渡り追跡	○植村慎吾（北大院）・浜地歩（(株)ブレック研究所）・高木昌興（北大）
P093	2B207	シマアオジ <i>Emberiza aureola</i> 保全への国際協力	○シンバ・チャン（バードライフ・インターナショナル）、葉山政治（日本野鳥の会）、尾崎清明（山階鳥類研究所）、植田睦之（バードリサーチ）、長谷部真（サロベツ・エコ・ネットワーク）、Pavel Ktitorov
P094	2B207	江戸時代の文献史料から復元するツルの渡り	久井貴世（北大院・文学／（公財）日本生態系協会）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P095	2B207	神奈川県で越冬したナベヅルの生息環境	○加藤ゆき（神奈川県博）・秋山幸也（相模原市博）・重永明生（日本ツル・コウノトリネット）
P096	2B207	新潟市へ飛来したソデグロヅルの越冬生活	千葉 晃（日本鳥類標識協会）
P097	2B207	タンチョウにおける体重と脂肪量の季節変化	○吉野智生・飯間裕子（釧路市動物園, 酪農大院・獣医）・松本文雄（釧路市動物園）
P098	2B207	ニュージーランドにおけるウスズミモリツバメの初記録	○森本智恵（日本野鳥の会・広島支部）, 柿嶋聡（科博・植物）
P099	2B207	小笠原諸島と八丈島のツバメ	重原美智子（イラストレーター）
P100#	2B208-9	岩礁帯におけるイソヒヨドリの採食生態	鳥居憲親（長岡市立科学博物館）
P101	2B208-9	イソヒヨドリはなぜ内陸部に進出するのか・第1報	○川内 博・橋本啓史・越川重治・柴田佳秀（都市鳥研究会）
P102#	2B208-9	乗鞍岳における鳥類の垂直分布	○飯島大智（東邦大）, 小林篤（東邦大）, 長谷川雅美（東邦大）, 森本元（東邦大・山階鳥研）
P103	2B208-9	熊本県鳥類誌からみる鳥類相の変遷	○坂梨仁彦・高野茂樹・松本芳文（日本野鳥の会熊本県支部）
P104#	2B208-9	山梨県小菅村における鳥類のヌタ場利用に関する研究	○亀村聡（東京農大・野生動物）・石坂真悟（多摩川源流大）・松林尚志（東京農大・野生動物）
P105	2B208-9	シジュウカラは巣箱とひまわりの種のどちらが大好き？	藤岡正博（筑波大学・生命環境系）
P106#	2B208-9	奈良県春日山原始林における鳥類群集の多様性と植生タイプとの関係	○岡本 真帆・大矢 樹・武田 紗季・伊東明・名波 哲（大阪市立大学・院理）
P107	2B208-9	参加型調査“ベランダバードウォッチ”からみえる住宅地の鳥類群集	○三上かつら（バードリサーチ）・平野敏明（バードリサーチ）・三上修（北海道教育大学函館校）・植田睦之（バードリサーチ）
P108#	2B208-9	カラ類における育雛行動の雌雄間比較	○南 美月, 肘井直樹（名古屋大・生命農・森林保護）
P109	2B208-9	外来種ソウシチョウの分布拡大と集団の遺伝的構造	○天野一葉（琵琶湖博）・石橋靖幸（森林総研・北海道）・東條一史（森林総研・鳥獣生態）・中村秀哉（常磐大短大）・上野吉雄・日比野政彦・真野徹（日本鳥類標識協会）
P110#	2B208-9	小笠原群島に生息するメジロの正体は？	○坂本大地（九大院・地社）・長太伸章（科博・標本資料セ）・川上和人（森林総研）・西海功（科博・動物）
P111	2B208-9	NGS を用いた絶滅危惧種ノグチゲラのマイクロサテライトマーカーの開発	○森さやか（酪農学園大・環境動物）, 千葉悟（水産研究・教育機構）, 泉洋江（北大総合博）, 西海功（科博）, 上開地広美, 山本以智人（環境省）
P112#	2B208-9	札幌市手稲区におけるカササギの繁殖生態と行動圏利用	○高橋飛鳥（酪農学園大院・保全生物）・森さやか（酪農学園大・環境動物）
P113	2B208-9	ワカケホンセイインコ <i>Psittacula krameri manilensis</i> の食性の報告	○松永聡美（公財日本鳥類保護連盟）・室伏龍（公財日本鳥類保護連盟）藤井幹（公財日本鳥類保護連盟）
P114#	2B208-9	里山景観におけるため池の鳥類多様性への影響—水田との比較	○出口翔大（新潟大院／福井市自然史博）・富岡洋亮・箕口秀夫（新潟大）

発表番号	会場	タイトル	発表者
P115	2B208-9	トヨタ自動車新研究開発施設用地におけるブッポウソウの巣箱利用について（続報）	○清田佳奈 ¹ ・陳有 ² ・高橋伸夫 ³ ・大畑孝二 ⁴ （1 トヨタ自動車株式会社，2 株式会社テクノ中部，3 愛知県野鳥保護連絡協議会，4 公益財団法人日本野鳥の会）
P116#	2B208-9	エゾシカの高密度生息地における鳥類層の変化 - 野付風蓮道立自然公園の事例 -	○佐藤瑞奈（酪農大・院）・石下垂衣紗（別海町観光開発公社） 吉田剛司（酪農大・院）
P117	2B208-9	ブッポウソウの繁殖開始時期の決定に及ぼす要因の検討	○峯 光一（南西環境研究所）・加藤想・中堀清（岡山大院自然科学研究科）・中村浩志（信州大名誉教授）・高田宜武・山田明代・井上理恵・増成伸文・南里敬弘・勝部恭司・成田和彦・三枝誠行（生物多様性研究・教育プロジェクト）
P119	2B208-9	自然移入した喜界島のモズ個体群の現状	○濱尾章二（国立科博・動物）・山本裕（（公財）日本野鳥の会）・鳥飼久裕（NP0 法人奄美野鳥の会）・伊地知告（喜界町）・吉川翠（国立科博・動物）
P121	2B208-9	神奈川県におけるツバメ類の地域別減少傾向について	○秋山幸也（相模原市博）・渡邊謙二（日本野鳥の会神奈川支部）・高野真帆（北里大）・吉永龍起（北里大）
P123	2B208-9	小型魚食鳥類は減少，夏鳥は復活？ 全国鳥類繁殖分布のこれまでの成果	○植田睦之（バードリサーチ）・葉山政治（日本野鳥の会）・荒哲平（日本野鳥の会）・佐藤望（バードリサーチ）
P125	2B208-9	北海道勇払原野におけるオオジシギの繁殖個体数の変化	○浦 達也（日本野鳥の会）・西林直哉（東京都市大・院・環境情報）・田尻浩伸（日本野鳥の会）・竹前朝子（日本野鳥の会）・中村 聡（日本野鳥の会）・葉山政治（日本野鳥の会）・大畑孝二（日本野鳥の会）・富岡辰先（日本野鳥の会）
P127	2B208-9	九十九里浜におけるシロチドリの営巣場所	○守屋年史（バードリサーチ）・佐藤達夫（行徳野鳥観察舎友の会）・岩崎加奈子（行徳野鳥観察舎友の会）
P129	2B208-9	三池島のベニアジサシ―北限の繁殖コロニーの現状	○池長裕史・江口浩喜・永江和彦・松富士将和（日本野鳥の会筑後支部）・安尾征三郎・田中 忠（日本野鳥の会熊本支部）
P131	2B208-9	茨城県におけるシマクイナの生息状況	○福田篤徳（野鳥の会茨城），小田谷嘉弥（我孫子鳥博），今井光雄（野鳥の会東京），深川正夫（野鳥の会千葉），白川浩一（野鳥の会千葉），白川浩子（野鳥の会千葉），山口恭弘（中央農研）
P133	2B208-9	関東地方におけるシマクイナとオオセツカの冬季の生息状況	○高橋雅雄（日本学術振興会／弘前大・農生）・蛭名純一・宮彰男・磯貝和秀・古山隆・高田哲良・堀越雅晴・大江千尋・叶内拓哉（NP0 法人おおせっからんど）
P135	2B208-9	行徳鳥獣保護区の内陸性人工湿地における鳥類による昼夜の利用状況	○本間幸治・佐藤達夫（行徳野鳥観察舎友の会）

※P118～P134 の偶数番号は，会場配置の都合により欠番です。

■高校生（小・中学生）ポスター発表

9月17日 13:00-15:30（会場は2B208-9）

発表番号	タイトル	発表者
Y1	外的要因によるウズラの色覚への影響	菅野琴音, 酒井玲奈（兵庫県立加古川東高・自然科学部生物班・ウズラ研究チーム）
Y2	くらしで違う海鳥のホネーカモメ3種とウトウの骨と塩類腺の比較ー	住岡凜々花（稚内市立稚内中），磯清志（北海道稚内高）
Y3	四日市市西部丘陵地帯に生息するフクロウ <i>Strix uralensis</i> の繁殖時の給餌食物	川内健, 末永雄貴, 矢野志燿, 丹下浩（三重県立四日市西高・自然研究会）
Y4	メジロの亜種や性別は声で識別できる？3	北谷大地, 谷本悠樹, 矢野琢巳, 服部太陽（大阪府立岸和田高・生物部）（指導：中村進）
Y5	鳥と人との距離	眞貝碧, 平田和義, 秋山礼（逗子開成高・物理化学部）
Y6	ツバメに好まれる街とは？(3)	秋山礼（逗子開成高）
Y7	利根川下流域におけるオオセッカの生態について	及川樹也（香取市立小見川中）
Y8	鳥取県西伯郡大山町大山寺におけるジョウビタキの繁殖	楠ゆずは（米子市立福米中），楠なづな（米子市立福米西小）
Y9	兵庫県武庫川周辺のカワウ <i>Phalacrocorax carbo</i> の観察と研究	大路紘裕, 田中愛, 山木文汰, 藤堂恭行（兵庫県立尼崎小田高・鳥類研究班）

■自由集会

9月15日 18:30-20:30

発表番号	会場	タイトル	主催者
W01	A110	みんなで調べるジシギの渡り	小田谷嘉弥(我孫子市鳥の博物館)
W02	2C404	当日持ち込み大歓迎！ その骨、同定します！！～骨の大同定会～	川口敏(香川生物学会)，江田真毅(北大・総博)
W03	2B411	東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク (ガンカモ類) 支援・鳥類学研究者グループ：JOGA 第21回集会 「ガンカモ類の生態研究における新しい調査・解析手法の提案」	向井喜果(新潟大・院・自然)， 安藤温子(国環研)，森口紗千子(新潟大・農)
W04	2B412	鳥類学における統計学：計算より概念 －P 値を出す統計，モデルベースの統計－	島谷健一郎(統計数理研究所)
W05	2B507	標本史研究っておもしろい －日本の鳥学を支えた人達	小林さやか(山階鳥類研究所)， 加藤克(北海道大学植物園・博物館)
W06	2B508	ロボット聴覚技術を活用した鳥類の行動観測	鈴木麗瑩(名大)，中臺一博 (東工大／ホンダ RIJ)，奥乃博 (早稲田大)

9月16日 18:30-20:30

発表番号	会場	タイトル	主催者
W07	A110	ロボットやネットワークカメラ，ドローンを活用した湿地生態系の監視・管理システムの構築	嶋田哲郎((公財) 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
W08	2B309	剥製作製・初級講座	川村航平，早川雅晴(植草学園大・発達教育)
W09	2C404	全国で増える都市のムクドリ増殖問題を考える	越川重治，川内博(都市鳥研究会)，和田岳(大阪市立自然史博物館)
W10	2B411	カワウを通じて野生生物と人との共存を考える(その20)。 －カワウとサギの不思議な関係－	熊田那央，加藤ななえ(バードリサーチ)
W11	2B412	第19回 ちょっと長めの話を聞く会	中村雅彦(上越教育大・生物)
W12	2B507	野鳥？ 外来種？ 飼育鳥？ コブハクチョウの位置付けについて考える	小泉伸夫(農研機構)，佐藤重穂(森林総研・北海道)
W13	2B508	最新の知見から考える風力発電と鳥類の問題	北村亘(東京都市大・環境)， 浦達也(日本野鳥の会)

■ 展示販売

・ 16～17 日 第二エリア 2C 棟 1F (2C101, 2C102)

・ 18 日 春日エリア 春日講堂ラウンジ

	出展者	展示・販売内容	16-17 日	18 日
1	(株) キウイラボ	系統樹ポスター	○	○
2	包み屋	野鳥柄のアクセサリー・グッズ	○	○
3	昆虫文献 六本脚	書籍	○	○
4	栃木屋工房	野鳥グッズ	○	○
5	(有) フィールドアート (谷口高司鳥絵工房)	野鳥イラスト額・マグ・缶バッチ	○	—
6	野鳥生活	野鳥ステッカー	○	○
7	韓国環境生態研究所 (KoEco Inc.)	発信機	○	—
8	(株) キュービックアイ	アルゴス	○	—
9	(株) 数理設計研究所	発信機, 調査機器	○	—
10	(株) ハイク	自動撮影カメラ	○	—
11	Lotek Wireless Telemetry	ロガー, 発信機	○	—

日本鳥学会 2017 年度大会

プログラム V4

2017 年 9 月 4 日発行

日本鳥学会 2017 年度大会実行委員会

大会事務局 〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館 動物研究部

濱尾章二気付 日本鳥学会 2017 年度大会事務局

E-mail (問合せ専用) osj2017@kahaku.go.jp

<http://osj2017.ornithology.jp/>